

2992

軍隊教育令

昭和十三年

第四五九號

三月十七日
結

2993

朕軍隊教育令ヲ改定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

昭和九年二月十五日

陸軍大臣 林 銑十郎

2994

軍令陸第二號

軍隊教育令

軍隊教育令目次

綱領	一	頁
第一章 總則	九	
第二章 一般教育	二十一	
第三章 特業教育	三十一	
第四章 將校教育	四十五	
第五章 士官候補生在隊間ノ教育	五十三	
第一節 要旨	五十三	
第二節 陸軍士官學校本科派遺前ノ教育	五十四	
第三節 陸軍士官學校本科卒業後ノ教育(見習士官教育)	五十八	

目次

第六章	少尉候補者教育.....	六十一
第七章	准士官、下士官教育.....	六十三
第八章	下士官候補者教育.....	六十九
第九章	上等兵候補者教育.....	七十五
第十章	幹部候補生教育.....	七十七
第十一章	短期現役兵教育.....	八十五
第十二章	補充兵教育.....	八十九
第十三章	勤務演習教育.....	九十一
第一節	要旨.....	九十一
第二節	復習ノ爲行フ教育.....	九十二
第三節	喪後備役將校、下士官進級ノ爲行フ教育.....	九十六

2997

軍隊教育令目次終

第十四章 檢閲及講評……………九十七
附 則……………百一

目次

三

軍隊教育令

綱領

一 軍隊教育ノ目的ハ軍人及軍隊ヲ訓練シテ戰爭ノ任ニ當ラシムルニ在リ而シテ戰爭ノ爲緊要缺クヘカラサル要素ハ堅確ナル軍人精神並嚴肅ナル軍紀タリ故ニ軍隊教育ハ此要素ヲ涵養スルヲ以テ主眼トス

夫レ生ヲ棄テ義ヲ取リ恥ヲ知り名ヲ惜ミ責任ヲ重シシ艱苦ニ堪ヘ奮ツテ國難ニ赴キ悦ンテ任務ニ斃

ルルハ我カ國民ノ古來繼承尊重セル大和魂ニシテ
 特ニ軍人ニ必須ノ資性ナリ故ニ軍隊教育ニ於テハ
 此國民性ヲ砥礪擴充シ以テ事實上ニ其成果ヲ發揮
 セシメサルヘカラス

二 將校ハ軍隊ノ楨榦ニシテ軍人精神及軍紀ノ本源
 ナリ故ニ居常之カ修養ニ勉メ其一言一行ハ部下ヲ
 シテ仰イテ以テ之ニ則ラシムルコト恰モ形影相伴
 ヒ響音相應スルカ如クナラサルヘカラス
 將校ハ又軍隊教育ノ中樞ニ立ツモノナリ故ニ平素
 該博ナル識量ヲ養ヒ卓拔ナル技能ヲ練リ以テ教育

上最善ノ效果ヲ收メサルヘカラス

凡ソ將校タルモノハ常ニ士風ヲ振起シ志氣ヲ旺盛ニシ躬行ヲ慎ミ率先ニ勉メ識見卓絶ニシテ教導肯綮ニ中ル如クナルヲ要ス此ノ如クシテ始メテ能ク部下ノ渴仰ト信頼トヲ獲ヘク以テ眞ノ服従ヲ誘起シ軍紀ヲ振興シ教育ノ成果ヲ舉クルコトヲ得ルモノトス

三

凡ソ部下ヲシテ一令ノ下欣然トシテ死地ニ就カシムルモノハ即チ訓練ノ精華ナリ之カ爲軍隊ノ教育ニ方リテハ幹部ハ兵ヲシテ的確ニ各自ノ責務ヲ

自覺シ忠君愛國ノ大義ニ基キ熱誠以テ事ニ從ハシ
 ムル如ク指導セサルヘカラス加之幹部ハ常ニ躬ラ
 上長ノ正道ヲ踐ミ兵ハ衷心服從ノ本義ヲ守リ上下
 一致肝膽相照ラシ以テ軍務ノ練磨ニ勉ムルヲ要ス
 苟モ軍隊ノ訓練ニ方リ上ミ思慮ノ穩健ヲ缺キ下モ
 思想ノ正順ヲ失フカ如キコトアラシカ軍隊ノ團結
 爲ニ弛解ヲ來スニ至ルヘシ嚴ニ戒慎セサルヘカラ
 ス

四

周到適切ニ企畫シ整正嚴格ニ實施スル教練ハ實
 ニ軍人精神ヲ振作シ軍紀ヲ緊張スルノ要道ナリ而

シテ又諸般ノ演習内外ノ勤務竝行住坐臥ノ間諄々
 薰化シテ懈ラサルハ之カ養成ニ缺クヘカラサルモ
 ノトス此ノ如クシテ彼此相應シ表裏兼該シ始メテ
 能ク軍人精神竝軍紀ノ涵養ヲ期スヘシ

五

武技ノ習熟ハ能ク自信力ヲ増シ意志ヲ鞏固ニシ
 氣力ヲシテ自ラ旺盛ナラシム

戦闘方ニ酣ニシテ勝敗ノ數今ヤ決セントスルノ際
 意中恃ム所アリ心手期セスシテ活動スルモノ唯能
 ク功ヲ奏スヘク堅忍持久毅然トシテ氣節ヲ持シ難
 境ニ處シテ愈奮激邁進スルモノ職トシテ鞏固ナル

意志旺盛ナル氣力ニ由ラスンハアラス各級ノ軍人
此心ヲ以テ武技ノ習熟ニ勉メサルヘカラス

六 體力ノ強弱ハ志氣ノ振否ニ至大ノ關係ヲ有ス體
力強健ナレハ志氣亦旺盛トナリ風土ノ變易ニ克チ
困苦缺乏ニ堪ヘ各種ノ任務ヲ完全ニ遂行スルヲ得
ヘシ故ニ軍人ハ體軀ヲ鍛ヒ筋骨ヲ鍊リ持久力ヲ養
ヒ以テ至難ナル任務ヲ盡スニ毫モ遺憾ナキノ資質
ヲ具備セサルヘカラス

七 軍人ハ國民ノ精華ニシテ其首要部ヲ占ム從ヒテ
之カ教育ノ適否ハ直ニ郷黨閭里ノ風尙ヲ左右シ以

テ國民ノ精神ニ偉大ノ影響ヲ及スモノナリ蓋シ軍隊ニ於テ修得セル無形上ノ資質ハ以テ社會ノ風潮ヲ向上スヘク國民ノ儀表ト爲リ摯實剛健ノ氣風ヲ馴致シテ國家ノ隆興ヲ増進シ得ヘケレハナリ是ヲ以テ苟モ軍隊教育ノ任ニ當ル者ハ固ヨリ戦闘ヲ以テ本旨ト爲スヘシト雖其良兵ヲ養フハ即チ良民ヲ造ル所以ナルヲ思ヒ國民ノ模範典型ヲ陶冶スルノ覺悟ナカルヘカラス

第一章 總 則

第一 本令ハ軍隊教育ニ關スル事項ヲ規定ス

技術將校タルヘキ士官ニ任スル見習士官、技術ニ從事スヘキ各兵科幹部候補生(一般教育ヲ除ク)、擔架兵、諸工務兵及各部(軍醫候補生ヲ含ミ幹部候補生ノ一般教育ヲ除ク)ノ教育並

憲兵隊及教化隊ノ教育ハ別ニ定ムル所ニ據ル
陸軍歩兵學校教導隊戰車隊及陸軍野戰砲兵學校教導聯隊高射砲隊ノ教育ハ成ルヘク本令ヲ準用シ陸軍工兵學校教導大隊電氣中隊ノ教育ハ本令ニ據ルモノトス

朝鮮、臺灣及外國ニ在ル軍隊ノ教育ハ狀況ノ許ス限リ本令ヲ準用スヘキモノトス

第二 本令中特ニ明文アルモノノ外聯隊トアルハ獨立隊ニ、中隊トア

總 則

九

ルハ機關銃隊、照空隊、野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊、裝甲自動車隊、電信聯隊固定無線隊、整備隊及下士官候補者隊ニ、聯隊長トアルハ獨立隊長ニ、中隊長トアルハ機關銃隊長、照空隊長、野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊長、裝甲自動車隊長、電信聯隊固定無線隊長、整備隊長及下士官候補者隊長ニ適用ス

材料廠ニ在リテハ相當大(中)隊ニ屬スル規定ヲ準用ス
野戰砲兵トアルハ野山騎砲兵及野戰重砲兵ヲ、砲兵トアルハ野戰砲兵、重砲兵及高射砲兵ヲ總稱ス

第三 師、旅團長ハ各、其條例ニ示セル教育上ノ職責ニ基キ絶エス部下ヲ監督指導スヘシ
兵監及陸軍航空本部長ハ其條例ノ示ス所ニ從ヒ各、本科専門ノ事項ニ就キ軍隊ノ教育ヲ指導スルモノトス

聯隊長ハ聯隊ニテ行フ教育ノ全責任者ニシテ且將校園ノ團結ヲ鞏固ニシ其士風ヲ振作スルノ責ニ任ス故ニ本令ノ趣旨ヲ遵守シ軍隊教育ノ整齊ナル進歩發達ヲ圖リ其目的ヲ達成スルコトニ努力スヘ

聯隊内ニ在ル大隊長ハ聯隊長ノ意圖ニ基キ部下各中隊ニ於ケル教育ヲ監督指導シ之カ向上進歩ヲ圖リ且大隊ヲ練成スルノ責ニ任ス中隊長ハ部下ヲシテ軍人タルノ性格ト各兵科本然ノ技能トヲ具備セシメ其團結ヲ鞏固ニシ以テ中隊ヲ練成スルノ責ニ任ス

聯隊ニ於ケル各種教育監督ノ將校ハ聯隊長ノ意圖ニ基キ當該教育ヲ監督指導シ之カ向上進歩ヲ圖ルモノトス

第四 幹部ハ適切ニ部下ヲ教育指導スルノ能力ニ長セサルヘカラス故ニ常ニ自ラ研鑽ヲ重ネ技能ヲ増進シ蘊蓄ヲ深クシ特ニ之ヲ的確

ニ部下ニ移スノ伎倆ヲ練磨スルヲ切要トス

第五 教育ノ成果ハ教育者ノ外之ヲ監督スル者ノ職責ヲ盡ス如何ニ關スルコト頗ル大ナリ監督指導ノ要ハ教育者ヲシテ常ニ旺盛ナル志氣ト企圖心トヲ以テ教育ニ從事セシムルト共ニ典令、範及諸條規ノ精神竝上司ノ意圖ヲ實現セシメ以テ教育ノ振作促進ヲ圖ルニ在リ故ニ監督ニ任スル者ハ此趣旨ニ基キ自ラ研究ヲ積ミ豫メ監督ノ企畫ヲ立テ且勉メテ教育ノ現場ニ臨ミテ其實情ヲ明ニシ適切ニ教育者ヲ誘掖指導セサルヘカラス然レトモ又常ニ自他ノ職域ヲ明ニシ責任分立ノ本義ヲ體シ各責任者ノ職權ヲ尊重スルヲ要ス

第六 凡ソ軍隊教育ニ於ケル絶對ノ要件ハ國軍作戰ノ要求ヲ充足セシムルニ在リ故ニ教育ニ方リテハ專ラ戰時ノ要求ヲ基礎トシ課目ノ輕重本末ヲ究メ特ニ戰場必須ノ事項ヲ十分ニ體得セシメ進ンテ

應用ノ能力ヲ練磨セシムルヲ要ス而シテ將來戰ノ性質、國軍ノ編制、裝備並戰時充用ノ關係ヲ了得スルコト深キニ從ヒ教育ハ益、適切ナルコトヲ得ルモノトス

教育ニ方リ課目ノ要點ヲ捕捉シ之カ訓練ヲ徹底セシムル如ク教育ノ手段、方法ヲ研究シ周到ナル計畫及準備ヲ爲スハ教育ノ效果ヲ果クル爲極メテ緊要ナリ

第七 教育ハ秩序的ニ進歩向上ヲ圖ルコト緊要ナリ故ニ其計畫及實施ヲシテ克ク此趣旨ニ適合セシメ且既往ノ經驗ハ採ツテ以テ之ヲ將來ノ改善ニ資スルト共ニ進ンテ創意工夫ノ動機タラシメ以テ年ヲ逐ヒ其實效ヲ擧クルノ著意ヲ必要トス

第八 教育ヲ實施スルニハ被教育者ヲシテ的確ニ己ノ責務ヲ自覺シ其誠實真摯ナル努力ヲ積マシムルコト緊要ナリ故ニ教育ニ任スル

者ハ指教ト熏陶トヲ兼ネ被教育者ノ素養並資性ニ應シ或ハ啓發的ニ或ハ注入的ニ教導シ以テ被教育者ヲシテ各課目ニ互リ其修得ノ切要ナル所以並目的精神ニ關スル理解ヲ的確ナラシメ自ラ悦ンテ教訓指導ヲ受クルニ至ラシムルヲ要ス而シテ教育者自ラ满腔ノ熱誠ト卓越セル技能トヲ以テ被教育者ニ臨ミ且率先躬行模範ヲ示スハ即チ被教育者ノ信頼ヲ益深クシ其自奮自覺ヲ促スニ缺クヘカラサルモノトス

第九 教育ノ實施ハ勉メテ被教育者ノ個性ニ適應スルヲ要ス之カ爲被教育者ノ身上即チ性質、思想、宗教、教育、遺傳、體力、身分、經歷、職業、嗜好、並家庭ノ狀況等苟モ教育ニ關係ヲ有スル事項ハ直接教育ニ任スル者ニ於テ之ヲ詳知シ以テ參考ニ資スルコト緊要ナリ又入營前ニ於テ受ケタル訓練ノ結果ヲ利用シ教育ノ進歩向上ニ資スルコトニ就

キ遺漏ナキヲ要ス

第十 教育ノ實施ニ方リテハ被教育者ヲシテ其技能及素養ニ應シト分ナル發達ヲ遂ケシムルヲ要ス之カ爲本令ニ示セル教育ノ成果ヲ向上スルト共ニ其優秀ナル者ニ對シ教育ノ程度ヲ高メ且箇々ノ技能優レタル者ニ對シテモ益之ヲ發達セシムルコト必要ナリ

第十一 教育ノ實施ハ順序ヲ逐ヒ先ツ部分毎ニ綿密ニ行ヒ漸次綜合シテ訓練ヲ完成スルヲ要ス然レトモ部分毎ニ實施スルハ教育ノ一階梯ニ過キササルヲ以テ之カ活用ヲ誤ラサルコトニ留意セサルヘカラス

第十二 地方ノ人情風俗ハ軍隊教育ニ影響スルコト少カラス故ニ教育ニ任スル者ハ之ニ適應スル教育ノ手段方法ヲ選ヒ且常ニ美風ノ助成弊習ノ矯正ニ勉ムルヲ要ス

總則

十五

又被教育者ノ思想ノ趨向ヲ明察シ之ニ正順ナル指針ヲ與ヘ其嚮フ所ヲ誤ラシメサルヲ緊要トス之カ爲教育ニ任スル者ハ深ク社會ノ實情時代ノ思潮ヲ洞察シ且常ニ自ラ修養ヲ積ミ以テ確乎タル信念ヲ持シ教導ヲ適切ナラシムルニ遺算ナキヲ期スヘシ

第十三 賞罰ノ適否ハ教育ノ成果ニ至大ノ影響ヲ與フルモノナリ故ニ之カ行使ヲ慎重ニスルト共ニ嚴正公平ニシテ苟モ情實ノ弊ニ陥ルカ如キコトアルヘカラス特ニ處罰者ニ對シテハ爾後ノ指導ニ細心ナル注意ヲ拂ヒ以テ其實效ヲ收ムルコトニ勉ムルヲ要ス

第十四 精神教育ハ教育ノ神髓ニシテ寤寐ノ間モ忽セニスヘカラツルモノナリ故ニ直接教育ニ任スル者ハ豫メ企畫シテ遺漏ナキヲ期スルト共ニ一舉止ノ微モ忽諸ニ附セス凡百ノ機會ト資料トヲ捕捉シテ或ハ獎勵シ或ハ教誡スルヲ緊要トス

勅諭及勅語ハ實ニ精神教育ノ本源ナリ故ニ時ト所トヲ論セス機ニ
 觸レ物ニ應スル毎ニ 聖旨ノアル所ヲ懇切ニ説明シ之ヲ屬裡ニ銘
 刻セシメ以テ拳々服膺ノ實ヲ現サシムルヲ要ス
 精神教育ハ直接教育ノ資アル者ハ勿論關係アル上官悉ク之ニ任ス
 ヘキモノトス

第十五 國體ノ特長就中 皇室ト臣民トノ關係ヲ明ニスルハ忠君愛
 國ノ信念ヲ鞏固ナラシムル所以ナリ故ニ教育ニ任スル者ハ其將校
 タルト下士官タルトヲ問ハス躬ヲ研鑽ヲ積ミ修養ヲ重ヌルト共ニ
 特ニ時世ノ變遷ニ伴ヒ之カ教育資料ノ準備ニ遺憾ナキヲ期セサル
 ヘカラス

第十六 國防及國軍建設ノ要義ニ關シ的確ニ理解セシムルハ己ノ資
 務ヲ自覺シ益々奉公ノ念ヲ固クセシムル所以ナリ故ニ被教育者ノ種

註
 則

十七

類、素養等ニ應シ適切ニ之カ教育ヲ圖ルヲ要ス

第十七 我カ國粹タル古今ノ史實或ハ光榮アル所屬國隊ノ戰績若ハ先輩、战友ノ建テタル勳功等ハ精神教育ノ重要ナル資料タリ故ニ仔細ニ之ヲ説明シ被教育者ノ自覺ヲ促シ其識見ヲ高尚ニシ且躬行ノ規範ヲ與フルコトニ勉ムヘシ

第十八 内務並衛戍其他ノ諸勤務ヲ嚴密ニ實行セシムルハ心性ノ修養ヲ完カラシムルニ著シキ效果アルモノトス故ニ教育者ハ之カ實行ニ關シ微細ノ點ニ至ルマテ周到ナル注意ヲ拂ヒ適切ナル指導ヲ與ヘ以テ教育ノ完成ヲ圖ルヲ要ス

第十九 兵器ノ尊重、馬ノ愛護及被服其他諸物品ノ取扱等ニ就キ絶エス指導薰化スルハ精神教育ヲ裨補スルコト極メテ大ナリ故ニ教育者ハ特に此點ニ著意シ良習慣ヲ養フコトニ勉ムルヲ要ス

第二十 凡ソ軍人ハ在郷者トナリタル後ト雖依然國家保護ノ責務ヲ擔フヘキハ言フ俟タス故ニ教育者ハ校教育者ヲシテ教育ノ成果特ニ無形上修得セル良資質ヲ終身持續シ之ヲ郷黨ニ及サシムルノミナラス進ンテ軍隊教育ト國民教育トノ連鎖タラシムルノ覺悟ヲ以テ教育ニ任セサルヘカラス

第二十一 體力及氣力ノ強健ハ諸兵業ノ基礎ナリ故ニ教練演習ノ際ハ勿論有ユル機會ヲ捕ヘ漸ヲ逐ヒテ之ヲ鍛鍊シ以テ活力ノ充實ヲ圖ルコトニ勉ムルヲ要ス

第二十二 馬ノ調教保育ヲ良好ナラシムルハ管ニ其活動力ヲ増大スルニ止ラス教育ノ進歩ヲ容易ナラシムル爲亦必須ノ要件ナリ故ニ教育者ハ絶エス之ニ留意シ其向上ヲ圖ルヲ要ス

第二十三 教育ニ關スル簿表ハ直接教育ニ任スル者ノ使用ノ便宜ト

總則

將來ノ參考ニ資スルコトヲ主眼トスヘキモトス故ニ成ルヘク
簡潔ニシテ專ラ其利用ニ適セシムルヲ要ス

第二十四 毎年十二月一日ヨリ翌年十一月三十日マテヲ教育年度ト

謂ヒ其稱呼ハ翌年一月ヨリ起ル曆年ノ稱ニ依ルモノトス

第二十五 二期人營部隊ニ於ケル後期入營兵ノ教育ハ特ニ規定スル

モノノ外前期入營兵ノ爲ニ規定スルモノヲ準用スヘシ

二十

第二章 一般教育

第二十六 一般教育ノ目的ハ兵及各級幹部ヲ訓練シ以テ精銳ニシテ且堅實ナル軍隊ヲ練成スルニ在リ

第二十七 一般教育ノ爲教育年度ヲ若干期ニ分ツ其區分及各期ニ於テ實施スヘキ課目ノ標準ハ教育順次表(附表第一乃至第二十三)ヲ以テ示ス

教育順次表ハ特ニ規定スルモノノ外初年兵ヲ基準トシ其進度ハ最低ノ要求ヲ示スモノトス但特ニ進度ヲ示ササル課目ニ在リテハ第一年度末ニ於テ兵種本然ノ要求ニ應シ得ルノ程度ニ達セシムルヲ標準トスヘシ

第二年兵ノ教育ハ第一期ヲ除クノ外教育順次表ノ課目及區分ニ依

一般教育

二十一

リ既得ノ技能特ニ應用ノ能力ヲ練磨シ確乎タル自信ヲ以テ困難ナル狀況ニ處シ獨斷克ク機宜ニ適スル動作ヲ爲シ得ルニ至ラシムルヲ要ス又其優秀ナル者ニ對シテハ成ルヘク一階上級ノ職務ヲモ執リ得ルニ至ラシムルコトニ勉ムヘシ

第二十八 初年兵第一期ノ教育ハ軍人基本ノ教育ニシテ兵ノ精神上ニ深刻ナル印象ヲ與ヘ且爾後ニ於ケル教育ノ基礎ヲ成形スルモノナリ故ニ此教育ニハ特ニ力ヲ盡ササルヘカラス

第二年兵ニ對スル本期ノ教育ニ在リテハ使用シ得ル時日ノ僅少ナルニ鑑ミ主トシテ直接戰場ニ於テ必要ナル課目ヲ選定シ十分ニ之カ練熟ヲ圖リ特ニ應用ノ能力ヲ練磨スルヲ要ス

第二十九 歩兵隊、戰車隊(含_A以下同シ)、騎兵隊、野戰砲兵隊、高射砲隊、電氣中隊、氣球隊及輜重兵隊ニ在リテハ左ノ區分ニ從ヒ分業教育

ヲ施スヘシ面シテ其分業教育ハ初年兵第一期(電氣中隊ニ在リテハ第二期)間ニ於テ成ルヘク速ニ之ヲ開始スルモノトス

- 歩兵中隊 小銃手ト輕機關銃手トニ分ツ
- 歩兵機關銃隊 機關銃手ト歩兵砲手トニ分ツ
- 戰車隊 射手ト操縦手トニ分ツ
- 騎兵機關銃隊 機關銃手ト輕機關銃手トニ分ツ
- 野戰砲兵隊(山砲兵隊ヲ除ク) 砲手ト馭者(野戰重砲兵第七、第八聯隊ニ在リテハ自動車手)トニ分ツ
- 高射砲中隊 砲手ト觀測手トニ分ツ
- 照空隊 照射手ト聽測手トニ分ツ
- 野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊 砲手、觀測手、照射手及聽測手ニ分ツ
- 電信隊 通信員ト建築員トニ分ツ

一般教育

二十三

電氣中隊	機關員ト建築員トニ分ツ
氣球隊	氣球操作兵ト自動車手トニ分ツ
輜重兵隊 <small>(第二及第六乃至第十一大隊ヲ除ク)</small>	一般兵ト自動車手トニ分ツ
分業教育開始ニ方リ幹部候補生タルノ資格ヲ有スル兵ニ在リテハ左ノ分業課目ヲ教育スルモノトス	
歩兵中隊	小銃手
歩兵機關銃隊	機關銃手及歩兵砲手
戰車隊	操縦手
騎兵機關銃隊	機關銃手
野戰砲兵隊 <small>(山砲兵隊ヲ除ク)</small>	砲手
高射砲中隊	砲手
照空隊	照射手

野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊
砲手
電信隊
通信員
電氣中隊
機關員
氣球隊
氣球操作兵
輜重兵隊
一般兵及自動車手

第三十 空中勤務ハ教育ノ各期ヲ通シ絶エヌ之カ演練ヲ圖ルト共ニ
特ニ精練有爲ナル空中勤務者ヲ養成スルヲ要ス
聯隊長ハ要スレハ指令セル將校ヲシテ空中勤務教育ノ一部若ハ全
部ヲ擔任セシムルコトヲ得

本教育ノ細部ニ關シテハ陸軍航空本部長之ヲ規定スルモノトス

第三十一 入營退營時期ニ適應セシムル爲特ニ必要ナルトキ又ハ衛
戍地演習場ノ關係其他已ムヲ得ナル場合ニ於テハ教育期ノ日數及

般教育

二十五

教育課目ノ進度並區分ハ師團長ニ於テ之ヲ變更スルコトヲ得

第三十二 戦時ノ編制裝備ニ近キ部隊ヲ以テ行フ教練ハ極メテ必要ナルヲ以テ屢之ヲ實施スヘシ又同一兵種ノ數團隊ヲ連合シテ行フ演習ハ屢機會ヲ設ケ所屬師團ヲ異ニスル部隊間ニ在リテモ勉メテ之ヲ實施ヲ圖ルヲ要ス

編制、裝備及戦法ヲ異ニスル敵ニ對スル演習ヲ實施スルコト亦必要ナリ

第三十三 教育順次表ニ示ス課目ハ典令、範ノ示ス所ニ從ヒテ實施シ之ヲ實地實用ニ適セシムルヲ要ス又之ニ連繫シテ敬禮及觀兵ノ制式ヲ教育スヘシ總テ之ヲ術科ト稱ス

第三十四 術科ニ伴ヒ典令、範中兵ニ必要ナル事項ヲ説明シ其趣旨ヲ了解セシメ以テ術科ノ進歩ニ資シ尙教育ノ程度ニ應ジ左ニ掲クル

諸項目ニ就キ所要ノ事項ヲ教授スヘシ總テ之ヲ學科ト稱ス

陸軍禮式

軍隊内務

軍人ノ階級及服制

兵器ノ名稱、手入及取扱法

被服ノ名稱、手入及裝著法

馬ノ取扱、使役、飼養及保護ニ關スル事項

各兵種ノ性能

團隊ノ編制

勳章、徽章其他褒賞ニ關スル事項

刑罰ニ關スル事項

衛生法及救急法

一般教育

二十七

衛戍勤務

在郷軍人ノ心得

赤十字條約

其他必要ナル事項

第三十五 各年度及各期ニ於ケル學科ノ課目及進度ハ中隊長之ヲ定ムルモノトス

第三十六 學科ハ成ルヘク實地、實物ニ就キ或ハ活動寫真、繪畫、砂盤、模型等ヲ利用シテ適切ニ施行シ以テ其理解ヲ容易ナラシメ且各人ノ素養ニ應シ實用ニ適セシムルヲ程度トシ安ニ難キヲ資メ又ハ徒ラニ諸語ニ流レシムルカ如キ弊害ナキヲ要ス

第三十七 幹部ノ數若ハ教育人員、課目ノ關係等ニ依リ必要アルトキハ聯大隊長ハ數箇ノ大(中)隊ヲ合シ教育ヲ實施スルコトヲ得

第三十八 歩兵隊ニ於ケル工務兵及專務兵ノ教育ハ第一期間ニ修得
セル能力ヲ保持増進シ退營期マテニ一般兵ニ伍シ戰闘及戰時ノ諸
勤務ニ從事シ得ルノ程度ニ達セシムルモノトス

第三十九 歩兵隊ニ於ケル在營年限短縮ノ適用ヲ受ケサル者ノ教育
ハ在營年限短縮ノ適用ヲ受クル資格アル者ニ準シテ實施シ爾後益々
其能力ヲ増進セシムルモノトス

第三章 特業教育

第四十 特業教育ノ目的ハ所要ノ下士官兵ニ一般教育ノ外戰國ノ爲
必要ナル特別ノ技能ヲ修得セシメ以テ精練ナル特業者ヲ養成スル
ニ在リ

第四十一 本令ニ於テ特業者ト稱スルモノ左ノ如シ

歩兵隊 通信手

戰車隊 通信手、鍛工手、發動機工手、電機工手

騎兵隊 通信手

野砲兵隊 觀測手、通信手、高射砲手、高射觀測手、照射手、聽測手

山、騎砲兵及野戰重砲兵隊 觀測手、通信手

重砲兵隊 觀測手、通信手、高射砲手、高射觀測手、高射機銃手、照

特業教育

三十一

射手、聽測手、要塞砲塔手、要塞砲塔機關手、要塞通信手、
要塞電燈手

高射砲隊 通信手、自動車手、高射機關銃手(高射砲中)

野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊 通信手、自動車手、高射機關銃手

工兵隊 通信手、木工手、鍛工手、石工手、機工手、候敵手(中隊)

鐵道隊 鐵道諸工手(木、鍛、粗立、仕上、製線、機工手、機關手、鐵道電

信手

電信隊

有線隊 木工手、鍛工手、電機工手

無線隊 木工手、鍛工手、電機工手、機關工手

電氣中隊 通信手、木工手、鍛工手、強流電機工手、機關工手

飛行隊 機關工手、自動車手、寫真工手(機關隊ヲ除ク)、通信手、無線電信

手、金屬工手、電機工手、高射機關銃手、爆彈工手(要隊)、
 機關銃工手、氣象觀測手
 氣球隊
 氣球工手、繫留車手、寫真工手、通信手、鍛工手、瓦斯工手、
 高射機關銃手、氣象觀測手
 各 隊 瓦斯兵、喇叭手
 第四十二 特業教育ハ特業修業者及特業者ノ教育ニ分チ特業修業者
 ノ教育ハ第一年度ヨリ開始スルモノトス其教育期間左ノ如シ
 歩兵隊 通信 第二期ノ初メヨリ約七月間
 戰車隊 通信、鍛工、發動機工、電機工 第二期ノ初メヨリ年度末マテ
 騎兵隊 通信 第二期ノ初メヨリ師團秋季演習前
 マテ

特業教育

砲兵隊 <small>(高射砲隊ヲ除ク)</small>	觀測、通信	二月中旬ヨリ約九月間
重砲兵隊	高射砲、高射觀測、高射機關銃、照射、聽測	第二期ノ初メヨリ年度末マテ
高射砲隊並野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊	通信、自動車	三月上旬ヨリ約七月間
同	高射機關銃	第二期ノ初メヨリ年度末マテ
工兵隊	通信	第二期ノ初メヨリ約四月間
同	木工	七月上旬ヨリ約三月間
同	鍛工	第二期ノ初メヨリ約七月間
同	石工	第二期ニ於テ約二月間
同	機工	第二期ノ初メヨリ年度末マテ
同	候敵	七月以後ニ於テ約二月間

鐵道隊	鐵道諸工	第二期ノ初メヨリ六乃至十一月間
同	機關	四月以後ニ於テ約十二月間
同	鐵道電信	第二期ノ初メヨリ約七月間
電信隊	木工	第二期ニ於テ約三月間
同	鍛工	第二期ニ於テ約五月間
同	電機工、機關工	第二期ノ初メヨリ約八月間
電氣中隊	通信	第二期ノ初メヨリ約四月間
同	木工	六月上旬ヨリ約三月間
同	鍛工	六月上旬ヨリ約六月間
同	強流電機工、機關工	
步兵隊	喇叭	第二期ノ初メヨリ約八月間 第二期ノ初メヨリ同期末マテ

特殊教育

各隊 瓦斯

第二期ノ初メ(飛行隊ハ六月以後)ヨリ約三月間

各隊(歩兵隊ヲ除ク) 喇叭

第二期ノ初メ(飛行隊ハ六月上旬)ヨリ年度末マ

特業者ノ教育期間ハ特業修業校ヨリ退營期マテトス

野砲兵隊ノ高射砲手、高射觀測手、照射手、聽測手及重砲兵隊ノ要塞砲塔手、要塞砲塔機關手、要塞通信手、要塞電燈手ハ陸軍野戰砲兵學校若ハ陸軍重砲兵學校ニ於テ當該教育ヲ受ケタル者ヲ以テ之ニ充ツ

第四十三 特業教育ノ爲使用スヘキ日數ノ標準左ノ如シ

各種特業(野砲兵隊ノ高射砲、高射觀測、照射、聽測、重砲兵隊ノ高射機關銃、要塞砲塔、要塞砲塔機關、要塞通信、要塞電燈、高射砲塔、野砲兵隊隊内ニ在ル高射砲隊ノ高射觀測隊、航空兵隊ノ各種特業及各隊ノ喇叭ヲ除ク)

特業修業者ニ對シテハ每週概ネ四日但步兵隊ノ通信修業者ニ對シテハ初メ二月間ハ每週概ネ三日又各隊瓦斯修業者ニ對シ

ナハ每週概ネ二日トス

既ニ特業者トナリタル者ニ對シテハ每週概ネ二日、但歩兵隊ノ
通信手ニ對シテハ每週概ネ三日トシ又各隊ノ瓦斯兵、戰車隊ノ
各種特業者、工兵隊ノ木工手、石工手、機工手、候敵手及鐵道隊ノ鐵
道諸工手、機關手ニ對シテハ適宜復習ヲ行フモノトス

要塞砲塔手、要塞砲塔機關手、要塞電燈手

毎年少クモ二十日

要塞通信手

每週概ネ二日

重砲兵隊及高射砲隊並野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊ノ高射機關
銃手

適宜教育ヲ實施スルモノトス

特種教育

三十七

喇叭

喇叭修業者ニ對シテハ每週概ネ三日但歩兵隊ノ者ニ對シテハ每週概ネ四日トス

喇叭手ニ對シテハ每週少クモ一日

特業(喇叭ヲ)修業者ノ教育ニ在リテハ要スレハ若干期間連續實施セシムルコトヲ得

第四十四 歩兵隊ノ通信教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ實施スルモノトス但分屯歩兵大隊ノ通信手ノ教育ハ要スレハ所屬大隊ニ於テ實施スルコトヲ得

聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スレハ若干ノ尉官及特務曹長ニ通信ノ教育ヲ爲スヘシ

第四十五 戰車隊ノ特業(喇叭ヲ)教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ之ヲ實施スル

モノトス

第四十六 騎兵隊ノ通信教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ實施スルモノトス
 聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スレハ若干ノ尉官及特務曹長ニ通
 信ノ教育ヲ爲スヘシ

騎兵旅團内ノ聯隊(第一及第八聯隊ヲ除ク)ノ通信教育ハ要スレハ旅團長ニ於テ兩
 聯隊ノ者ヲ合シ之ヲ實施セシムルコトヲ得

第四十七 砲兵隊ノ觀測及通信ノ教育ハ中隊毎ニ實施スルモノトス
 但要スレハ聯(大)隊ノ者ヲ合シ之ヲ實施スルコトヲ得

重砲兵隊ノ高射砲、高射觀測及高射機關銃ノ教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ
 實施スルモノトス

重砲兵聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スレハ若干ノ尉官及特務曹
 長ニ高射機關銃ノ教育ヲ爲スヘシ

特務教育

三十九

重砲兵隊ノ要塞砲塔手、同砲塔機關手、同通信手及同電燈手ノ教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ要塞備附ノ兵器器材ヲ使用シ其實技ニ習熟セシムルモノトス之カ爲聯隊長ハ管理者ノ承認ヲ得テ隨時要塞備附ノ砲塔、電信及電燈ヲ使用スルコトヲ得

高射砲隊ノ特業(備註)教育ハ中隊毎ニ實施スルモノトス但要スレハ聯(大)隊ノ者ヲ合シ之ヲ實施スルコトヲ得

高射砲隊ノ高射機關銃教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ實施スルモノトス
砲兵隊ノ特業教育ニ關スル細部ニ就キテハ砲兵監之ヲ規定スルモノトス

第四十八 工兵、鐵道、電信隊ノ特業(備註)教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ實施スルモノトス

工兵、鐵道、電信隊及電氣中隊ノ特業(備註)教育ニ關スル細部ニ就キ

ヲハ工兵監之ヲ規定スルモノトス
 第四十九 瓦斯防護ノ教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ之ヲ實施スルモノト
 ス

聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スレハ若干ノ尉官及特務曹長ニ瓦
 斯防護ノ教育ヲ爲スヘシ

師旅團長ハ要スレハ部下諸隊ノ瓦斯兵若ハ瓦斯修業者ヲ集メ所要
 ノ教育ヲ實施スルコトヲ得

第五十 喇叭教育ハ聯隊(分屯歩兵大隊ニ在
 リテハ雷隊大隊)ノ者ヲ合シ實施スルモノト
 ス

歩兵隊以外ノ諸隊ニ於ケル喇叭修業者ノ教育ハ已ムヲ得サレハ師
 團長ノ認可ヲ得テ之ヲ他隊ニ依託スルコトヲ得

第五十一 聯隊等ノ者ヲ合シ特業教育ヲ實施スル場合ニ於テハ聯隊

附佐官若ハ其他ノ將校ヲシテ監督セシムルモノトス

第五十二 特業修業者ノ教育ハ特業者タルニ必要ナル基礎動作ヲ略、完全ニ修得セシメ概ネ特業者トシテ其任務ヲ達成スルニ支障ナカラシムルヲ要ス特業者ノ教育ニ在リテハ益、其既修ノ技術ニ熟達セシメ且必要ノ補綴ヲ加ヘ以テ本教育ヲ完成スルモノトス

特業者及特業修業者ハ其教育ノ進歩ニ伴ヒ勉メテ之ヲ一般教育ニ合シテ訓練シ以テ其特業ヲ實際ニ活用シ得ルニ至ラシムルヲ要ス

第五十三 團隊長ハ通信教育ノ進歩ニ伴ヒ野外ニ於ケル各種演習幹部實設演習等ニ際シ勉メテ通信班等ヲ使用シ以テ實地ノ應用ニ習熟セシムルヲ要ス

第五十四 師團長ハ適宜ノ時期ニ於テ通信隊ヲ編成シ演習ヲ實施スルモノトス

師團長ハ通信隊要員ニ對シ適宜ノ方法ヲ講シ通信隊ノ通信器材ノ
使用法等所要ノ教育ヲ爲スヘシ
第五十五 本章ニ規定スルモノノ外航空兵隊ノ特業教育ニ就キテハ
陸軍航空本部長之ヲ規定スルモノトス

特業教育

四十三

第四章 將校教育

第五十六 將校教育ノ目的ハ將校ヲシテ其性格、德操ヲ涵養シ學識、技能ヲ練磨シ統御ノ道ヲ體得シ以テ其職責ヲ完全ニ遂行セシムルト共ニ陸軍將校團ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル教育ヲ施スニ在リ
本章ニ於テハ主トシテ特別ニ實施スヘキ教育ニ就キテ記述ス

第五十七 聯隊長以下各隊長ハ部下將校ヲシテ各其職責遂行ニ必要ナル實務ニ熟達セシムルモノトス

聯隊長ハ前項ノ外將校團長トシテ團員タル將校ニ對シ陸軍將校團ノ目的ヲ達成スル爲所要ノ教育ヲ行フモノトス之カ爲要スレハ適任者ヲシテ一部ノ教育ヲ擔任若ハ補助セシムルコトヲ得

第五十八 聯隊長ハ將校團成立ノ精神、歴史並其現況ニ鑑ミ部下將校

ノ指導ヲ適切ニシ修養ヲ完カラシムルト共ニ特ニ懇篤ナル情誼ト周到ナル注意トニ依リ團員相互ノ和親ヲ密ニシ以テ將校團ヲシテ其團長ヲ嚴父トシ先輩將校ヲ慈母、家兄トスル精神的家庭ノ實ヲ舉ケシムルヲ要ス

第五十九 將校ハ其個性ニ差アルハ勿論階級職務、經歷及勤務年數等ニ伴ヒ技能ヲ異ニスルヲ以テ之カ教育ハ成ルヘク各個人ニ適應スル如ク切實ニ施行シ特ニ其短所ヲ補ヒ其長所ヲ發揮セシムルコトニ著意スルヲ要ス又將校ヲシテ上長ノ教導ノミニ倚賴スルコトナク自ラ進ンテ研鑽ニ勉メ僚友互ニ切磋琢磨セシムル如ク指導スルヲ緊要トス

第六十 將校ノ教育ハ一般教育、日常ノ諸勤務等ノ際ニ於テ實施スルハ勿論軍務ノ繁閑、將校團ノ現況其他諸般ノ狀況ニ應シ特ニ機會ヲ

設ケ要スレハ某期間連續シテ之ヲ實施シ逐年其進歩向上ヲ圖ルコト緊要ナリ

第六十一 將校教育ノ爲實施スヘキ主要ナル課目、方法左ノ如シ

實兵指揮

幹部實設演習

現地戰術

兵 棋

圖上戰術

戰 史

教育法

劍術、馬術

講話及會同研究

將校教育

四十七

課題作業

測 圖

暗 號

其他兵種ノ特性ニ應シ必要ナル事項

以上ノ外軍事智識ヲ増進シ必要ナル諸法規竝外國ニ於ケル軍事ノ事情等ヲ知得セシメ且將校園ノ家庭的教養ヲ完カラシムル爲諸種ノ手段ヲ講スルヲ要ス

第六十二

實兵指揮ハ軍隊指揮法ヲ練習セシムル爲主要ナル課目ナ

リ故ニ各隊長ハ一般教育ノ際部下將校ヲ指導シテ其熟達ヲ圖ルハ勿論勉メラ機會ヲ設ケ之ヲ演練スルヲ要ス而シテ其實施ニ方リテハ個人ノ識能及階級竝戰時職務ヲ顧慮シ兵力研究項目等ヲ定メ且熟達スルニ從ヒ一階上級ノ指揮ヲモ練習セシムルモノトス

實兵指揮特ニ諸兵連合ヲ以テスルモノヲ補足スル爲幹部實設演習
ヲ行フヲ有利トス

第六十三 現地戰術、兵棋及圖上戰術ハ實兵指揮ヲ準備シ若ハ之ヲ補
足スル爲各其獨特ノ效益ニ藉ヘ之ヲ實施スルト共ニ將來ノ大成ニ
資スル目的ヲ以テ之ヲ實施スルコト亦緊要ナリ

戰史ノ研究ハ精神ノ修養特ニ性格ヲ陶冶シ戰術及軍隊指揮ノ要諦
ヲ會得セシムル爲勉メテ之ヲ實施スルヲ要ス

第六十四 凡ソ教育ハ平時ニ於ケル軍隊業務ノ主體ニシテ將校ノ教
育上ニ於ケル技能ハ直ニ以テ軍隊ノ價值ヲ左右ス故ニ各隊長ハ部
下將校ノ從事スル各種ノ教育ニ際シ之ヲ誘掖指導シテ教育上ノ著
眼ヲ啓發スルハ勿論特ニ機會ヲ設ケ諸種ノ手段ヲ講シ教官タルノ
技能ヲ上述セシムルヲ要ス

第六十五 劍術、馬術ハ適宜之ヲ實施シ兵種ノ必要ニ應スルト共ニ體力、氣力ノ練磨ニ資スルヲ要ス

第六十六 講話會同研究及課題作業ハ勉メテ之ヲ實施シ各自ノ研究竝相互智識ノ交換ニ依リテ學識ノ向上ニ資シ併テ簡明確切ニ其意思ヲ發表スルコトニ熱スルニ至ラシムルヲ要ス

第六十七 測圖ハ兵種ノ必要ニ應シ適宜之ヲ實施スルモノトス

第六十八 兵種ノ特性ニ應スル特殊技能ハ適宜之ヲ教育シ又此等ノ既修者ニ對シテハ勉メテ機會ヲ設ケ其技能ヲ實地ニ練習セシメ以テ熟達ノ域ニ至ラシムルヲ要ス

第六十九 師團長ハ部下團隊長要スレハ其他上級幹部ノ教育ノ爲適宜ノ方法ヲ講シ其能力ヲ増進セシムルヲ要ス又部下諸隊ノ將校ヲシテ他兵種ニ關スル識能ヲ向上セシムル爲適宜ノ方法ヲ講スルヲ

要ス

旅團長ニ在リテモ亦前項ニ準シ其部下將校ヲ教育スルモノトス
第七十 師團長ハ必要ニ應シ部下諸隊ヨリ將校ヲ選定シ他隊其他ニ
派遣シ所要ノ研究或ハ實習等ヲ爲サシムヘシ
第七十一 官衙學校附ノ者ニ在リテモ勉メテ本章ニ準シ教育ヲ實施
シ或ハ附近ノ軍隊ニ其教育ヲ依託スルモノトス

將校教育

五十一

第五章 士官候補生在隊間ノ教育

第一節 要旨

第七十二 士官候補生在隊間教育ノ要ハ軍隊ノ實情ヲ明ニシ階級ニ相當スル勤務ヲ實習シ且陸軍士官學校教育ニ連繫シ其學術ヲ練習セシメ益、堅確ナル志操ヲ涵養シ高潔ナル品性ヲ陶冶シ以テ他日將校トナリ國家ノ干城タルニ恥チサル性格、技能ヲ具備セシムルニ在リ

凡ソ將校タル者ハ自ラ下士官兵ノ起居動作ヲ實踐シ各階級ニ應スル職務履行ノ法ヲ知り始メテ統御ノ道ヲ了得シ上下ノ團結ヲシテ益、鞏固ナラシムルヲ得ヘシ是士官候補生ヲシテ軍隊ノ勤務ヲ實習シ各職域ヲ明ニシ下士官兵ノ真情ヲ知悉セシメ且將校團ノ薰陶ニ

浴シテ威信ヲ保チ節義ヲ重シシ謹嚴分ヲ守リ忠勇職ヲ奉スルノ徳性ヲ長成セシムル所以ナリ

第七十三 士官候補生ハ將校團ノ後繼者ナルヲ以テ之カ教育ハ單ニ直接教育ノ任ニ當ル者ノミニ委スルコトナク聯隊ノ全將校ハ各自之ヲ誘掖指導スルノ責ヲ分タサルヘカラス

士官候補生ヲシテ先輩將校ニ親炙セシムルハ其識見ヲ高尚ニシ品性ヲ陶冶スル等裨益スル所極メテ大ナリ故ニ教育ノ任ニ當ル者ハ士官候補生ヲシテ成ルヘク多ク先輩上級者ニ接セシムルノ道ヲ講スヘキハ勿論先輩上級者モ亦求メテ之ヲ引接シ人格ヲ向上發達セシムルコトニ努力スルヲ要ス

第二節 陸軍士官學校本科派遣前ノ教育

第七十四 士官候補生ノ陸軍士官學校本科派遣前ノ教育ハ下士官兵

トシテ必要ナル學術ヲ修得シ且親シク下士官以下ノ勤務ヲ實習セ

シメ以テ陸軍士官學校本科教育ノ素地ヲ養成スルモノトス

第七十五 聯隊長ハ士官候補生ヲ某一中隊ニ配屬シ所屬中隊ニ於テ

其教育ヲ實施セシムヘシ然レトモ課目ニ依リ所屬中隊外ノ將校ヲ

シテ一部ノ教育ヲ擔任セシムルコトヲ得

第七十六 士官候補生ノ教育ハ概ネ一般教育ニ伴ヒ之ヲ實施スルモ

ノトス然レトモ課目ニ依リ下士官以下ト之ヲ分離シテ特別ニ施行

シ又縦ヒ下士官以下ト同時ニ教育スルトキト雖其素養ト將來ノ地

位トニ鑑ミ適切ナル手段方法ヲ講シ其能力ヲ發揮セシムルヲ要ス

第七十七 士官候補生入隊ノ當初ニ在リテハ陸軍士官學校豫科ニ於

ケル教育程度ヲ顧慮シ所要ノ補習教育ヲ行ヒ其階級ノ進ムニ從ヒ

之ニ應スル學術ヲ修得セシムヘシ
士官候補生ニ對シテハ各種分業ヲ併セ教育スルノ外左ノ事項ヲ修得セシムルモノトス

歩兵隊ノ者 機關銃、歩兵砲ノ操法及射擊並通信ノ概要

騎兵隊ノ者 機關銃、輕機關銃ノ操法及射擊並通信ノ概要

野戰砲兵隊ノ者 觀測、通信ノ概要

重砲兵隊ノ者 觀測、通信並高射機關銃ノ操法及射擊ノ概要

工兵隊ノ者 機工用、石工用器材ノ取扱並通信ノ概要

飛行隊ノ者 飛行機工術、發動機工術、自動車操縱術、通信並高射

機關銃ノ操法及射擊ノ概要

航空機用機關銃ノ取扱、視察、寫真撮影、空地連絡及

氣象觀測ノ概念

軽重兵隊ノ者 自動車操縦術ノ概要

騎兵隊(機銃隊ヲ有ス)ノ者ニ對スル機關銃輕機關銃ノ操法及射撃ノ教育ニ關シテハ師團長ニ於テ適宜規定スルモノトス

工兵隊ノ者ニ對シテハ甲中隊ノ一般教育ノ課目ヲ主トシテ教育シ其他ノ中隊ニ應スル課目ハ適宜其概要ヲ教育スヘシ

第七十八 實兵指揮及教育法ハ其階級ニ應シ之ヲ修得セシムヘシ之カ爲勉メテ實際ノ職務ヲ執リ十分體驗セシムルコトヲ主トシ已ムヲ得サル場合ニ於テハ見學等ニ依リ之ヲ補フヲ要ス
士官候補生教育ノ爲有益ナル各種ノ演習等ニハ勉メテ參加セシムヘシ

第七十九 學科ハ附表第二十四ニ據リ入隊當初ヨリ教育ヲ開始シ特ニ術科教育ト連絡シ下士官ノ職務ヲ遂行スルニ必要ナル能力ヲ得

士官候補生在隊間ノ教育

五十八

シムルヲ程度トシ陸軍士官學校教育ニ連繫スル如ク實施スルヲ要ス

第八十 内務及諸勤務ハ其階級ニ應シ之ヲ實習セシメ且分課下士官並中隊附曹長ノ事務ヲ見習ハシムヘシ

第八十一 勤務外ニ於ケル士官候補生ノ取扱ハ一般下士官兵ト異ナラシムルヲ要ス即チ成ルヘク將校自ラ之ニ當リ將校園ノ子弟トシテ將校ト凡案ヲ同シクシ食卓ヲ共ニシ全團員ノ誘掖薰陶ニ依リ和氣篤々ノ裡ニ自ラ其德操ヲ助成セシムルヲ要ス

第八十二 本節ノ教育ト陸軍士官學校本科教育トノ連繫ニ關スル細部ニ就キテハ教育總監之ヲ規定スルモノトス

第三節 陸軍士官學校本科卒業後ノ

教育(見習士官教育)

- 第八十三 見習士官教育ハ隊務ヲ實地ニ就キ修得セシムルヲ主眼トシ併セテ既ニ修得セル學識技能ヲ益發達セシメ且之カ活用ノ能力ヲ増進シ以テ初級士官タルノ性格技能ヲ具備セシムルモノトス
- 第八十四 聯隊長ハ見習士官ヲ成ルヘク一中隊ニ一名宛配屬シ主トシテ所屬中隊長ヲシテ之カ教育ニ任セシムヘシ
- 第八十五 實兵指揮及下士官以下ニ對スル教育法ハ見習士官ノ爲主要ナル教育課目トス故ニ一般教育ノ際ヲ利用スルノ外特ニ機會ヲ設ケテ適切ニ之ヲ教育スルヲ要ス
- 實兵指揮ハ主トシテ小隊又ハ之ニ準スル部隊ヲ以テ實施シ且懇切ニ典令、範ノ條項ヲ引用シ其成績ヲ講評スルモノトス

下士官以下ニ對スル教育法ハ教育ニ關スル諸條規及典令、範ヲ研究セシメ且將校ニ附シテ之ヲ見習ハシメ或ハ其指導ノ下ニ在リテ一部ノ教育ヲ擔任セシメ以テ其要領ヲ實際ニ會得セシムルヲ要ス

第八十六 體操、劍術、射撃、馬術及其他ノ技術ハ各兵種ノ必要ニ應ジ益之ニ習熟セシムルヲ要ス

第八十七 初級士官ニ必要ナル内務ノ實施ニ就キテハ絶エス綿密ニ指導シ衛戍勤務、委員業務等ノ研究ハ適切ナル方法ヲ設ケ勉メテ之ヲ實施セシムルヲ要ス

第八十八 聯隊長ハ見習士官ヲ將校教育ニ列セシメ以テ陸軍士官學校ニ於テ修得セル學識、技能ノ増進ヲ圖ルヘシ

第六章 少尉候補者教育

第八十九 陸軍士官學校ヲ卒業セル少尉候補者ノ教育ハ概ネ見習士官ノ教育ニ準シ其素養ト經歷トニ鑑ミ適切ニ實施スルヲ要ス

少尉候補者教育

六十一

第七章 准士官、下士官教育

第九十 准士官、下士官教育ノ目的ハ幹部タルニ必要ナル性格、徳操ヲ涵養シ且實務ニ關スル學識、技能ヲ練磨シ以テ其職責ヲ完全ニ遂行セシメ併セテ將來ニ於ケル向上發達ノ素地ヲ附與スルニ在リ

抑、准士官、下士官ハ將校ト共ニ軍隊ノ骨幹ヲ成シ指揮及教育ニ任シ要スレハ將校ニ代リテ其職務ヲ執ル者ニシテ特ニ兵ト親炙シ其性行ヲ詳ニシ率先躬行之ヲ教導シ以テ其本分ヲ完カラシムルノ責務ヲ有ス故ニ准士官、下士官ノ教育ニ方リテハ學術ノ練磨ト共ニ品性ヲ陶冶シ識見ヲ高尚ニシ眞摯誠實以テ職務ニ精勵シ特ニ内務ヲ履行スルノ習性ヲ涵養シ且旺盛ナル責任觀念ヲ振作シ獨斷ノ能力ヲ發揮セシムルヲ緊要トス

本章ニ於テハ主トシテ特別ニ實施スヘキ教育ニ就キテ記述ス

第九十一 准士官、下士官ノ教育ハ中隊長ノ擔任トス然レトモ聯(大隊)長ハ要スレハ聯(大隊)ノ准士官、下士官ノ全部若ハ一部ヲ合シ將校、同相當官其他ノ者ヲシテ教育ノ一部ヲ擔任セシメ又准士官ハ課目ニ依リ之ヲ將校ニ合シテ教育スルコトヲ得

聯(大隊)本部附下士官ノ教育ハ當該副官ノ擔任トスルモ其學術科ノ教育ハ要スレハ適宜ノ中隊ニ配屬シテ施行スヘシ

練習部附准士官、下士官ノ教育ハ前項ニ準シテ實施スヘシ

第九十二 下士官教育ハ下士官候補者教育ニ連繫シテ實施シ逐年之カ向上進歩ヲ圖リ其年次及階級ノ進ムニ從ヒ程度ヲ高メ各階級及職務ニ相當スル學識技能ニ習熟セシムルノ外進ンテ上級ノ職務ヲ執リ得ルノ能力ヲ具備セシムルヲ要ス

准士官教育ニ在リテモ亦右ニ準ス

第九十三 准士官、下士官ノ教育ハ一般教育、日常ノ諸勤務等ノ際ニ於テ實施スルハ勿論、軍務ノ繁閑、其他諸般ノ狀況ニ應シ、特ニ機會ヲ設ケ要スレハ某期間連續シテ實施スルヲ要ス

第九十四 准士官、下士官ハ其素養ニ於テ差アルハ勿論、階級、職務、經歷及勤務年數等ニ伴ヒ技能ヲ異ニスルヲ以テ之カ教育ハ成ルヘク各個人ニ適應スル如ク切實ニ施行シ、特ニ其特長ヲ發揮セシムルコトニ著意スルヲ要ス

第九十五 軍隊指揮ノ教育ハ主トシテ實兵指揮ニ依ルノ外、現地及團上教育、竝兵棋等ヲ以テ之ヲ補フコトニ勉ムヘシ

第九十六 教育法ハ教育ノ目的、資材、時期及被教育者ノ素養、竝人員等ニ應シ、適切ニ教育ヲ實施シ得ヘキ十分ナル技能ヲ養成スヘシ

第九十七 體操、劍術、射擊、距離測量、馬術及其他ノ技術ハ各兵種ノ必要ヲ顧慮シテ練習セシメ兵ニ活模範ヲ示シ且適切ニ之ヲ教育シ得ヘキ十分ナル技能ヲ養成スヘシ

第九十八 典令、範ニ關スル教育ハ術科ノ進歩ヲ助成シ併テ將來ニ於ケル發達ニ資スル如ク之ヲ實施スヘシ之カ爲成ルヘク實地ニ就キ修得セシメ尙現地及圖上等ノ教育ニ依リ之ヲ補足スルヲ要ス又各種ノ機會ヲ捕捉シ他兵種及各種兵器ニ關スル智識ヲ増進シテ其指揮能力ノ向上ニ資スルコトニ勉ムヘシ
兵器ノ機能、手入及取扱法ハ兵種ノ必要ヲ顧慮シ十分ナル理解ヲ得シムルヲ要ス

第九十九 要圖及報告等ノ圖製ハ簡單ナル戰術上ノ任務ヲ與ヘテ屢之ヲ實施シ又兵種ノ必要ヲ顧慮シテ簡單ナル局地ノ測圖ヲ練習セ

シメ且地圖ノ讀解ニ習熟セシムルヲ要ス

第百 内務及諸勤務ハ絶エス實地ニ就キ懇切周密ニ指導シ且其智識ヲ向上シ以テ適切ニ部下ヲ訓諭指導シ得ルニ至ラシムルヲ要ス

第百一 普通學及常識ノ向上ハ職責ノ遂行竝將來ノ發達ニ資スルコト大ナルヲ以テ常ニ之カ進歩ヲ圖ルコトニ勉ムヘシ

又餘暇ヲ利用シ退營後ニ於ケル處世ニ必要ナル事項ヲ研究セシムル爲所要ノ便宜ヲ與フルコト必要ナリ

第百二 砲兵、電信隊及電氣中隊ノ准士官、下士官ニ對シテハ必要ニ應シ其素養ヲ顧慮シ砲兵隊ニ在リテハ其特業課目中成ルヘク一課目ヲ又電信隊及電氣中隊ニ在リテハ特業課目或ハ本科専門ノ重要課目中少クモ一課目ヲ適宜ノ時期ニ於テ專修セシムヘシ

第百三 各種分業、特業課目及特殊技術等ノ既修者ニ對シテハ勉メテ

機會ヲ設ケ其技能ヲ實地ニ練習シ熟達ノ域ニ至ラシムルヲ要ス又
下士官候補者トシテ修得シタル特業課目等ハ機會ヲ得テ之ヲ練習
セシメ兵種ノ必要ニ應シ其程度ヲ向上スルヲ要ス

第四百 師團長ハ必要ニ應シ部下諸隊ヨリ准士官、下士官ヲ選定シ他
隊其他ニ派遣シ所要ノ研究或ハ實習等ヲ爲サシムヘシ

第四百五 官衙、學校附ノ者ニ在リテモ勉メテ本章ニ準シ教育ヲ實施シ
或ハ附近ノ軍隊ニ其教育ヲ依託スルモノトス

第四百六 下士官候補者ニアラサル伍長勤務上等兵ノ教育ハ本教育ニ
準シテ實施シ實務ニ關シテハ初級下士官トシテ職務ヲ執リ得ルニ
至ラシムルヲ要ス

第八章 下士官候補者教育

第百七 下士官候補者教育ノ目的ハ幹部タルヘキ性格徳操ヲ涵養シ
下士官タルニ必要ナル學識技能ヲ具備セシメ且之ニ將來ノ發達ニ
資スヘキ素地ヲ與フルニ在リ

第百八 下士官候補者教育ハ別ニ規定スルモノノ外通常聯隊ノ下士
官候補者ヲ合シ佐官監督ノ下ニ行フモノトス但内務及諸勤務ニ關
スル實地ノ教育ハ所屬中隊長ノ擔任トシ要スレハ聯隊長適宜之ヲ
規定スルコトヲ得

術科中下士官候補者ノミヲ以テ施行シ得サルモノ若ハ他ノ教育ト
同時ニ施行スルヲ便トスルモノハ聯隊長適宜之ニ對スル教育ヲ規
定スヘシ

第九百 下士官候補者ノ教育ハ入營後概ネ三月(舊兵隊ハ四月)ヨリ之ヲ開始シ

第二年度末マテニ完成スルモノトス

陸軍通信學校及所澤陸軍飛行學校生徒ノ課程ヲ卒業シタル下士官候補者ニ在リテハ軍隊配屬ノ時ヨリ概ネ第二年度教育ニ準シテ行フモノトス

第九百十 第一年度下士官候補者ニ對スル術科教育ハ主トシテ其所屬中隊ノ一般教育ノ課目ニ就キ兵ノ模範タルヘキ技能ヲ具備セシメ實兵指揮及教育法ノ基礎動作ヲ修得セシムルヲ要ス但航空兵隊ニ在リテハ主トシテ特業課目若ハ本科専門ノ重要課目ニ就キ教育シ且第二年度ニ於ケル下士官勤務ノ必要ヲ顧慮シテ實施スルモノトス

第九百十一 第一年度下士官候補者ニ對シテハ其所屬中隊ノ各種分業

(機銃兵ニ在リテハ)ヲ併セ教育スルモノトス但歩兵機關銃隊ニ在リテハ
(自動車手ヲ除ク)
 其隊下士官充用ノ關係ヲ顧慮シ機關銃若ハ歩兵砲ノ一分業ニ就キ
 又野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊ニ在リテハ砲手、觀測手ヲ主トスル
 者ト照射手、聽測手ヲ主トスル者トニ分チテ教育シ各、他ノ分業ハ其
 概要ヲ教育スルニ止メ氣球隊ニ在リテハ第二年度末マテニ各種分
 業ニ就キ教育スルモノトス

第百十二 第一年度下士官候補者ニ對シテハ左ノ事項ヲ併セ教育ス
 ヘシ

戰車隊ノ者 機工術及鍛工術ノ中少クモ一課目

騎兵隊ノ者 機關銃ノ操法及射撃ノ概要

機關銃隊ニ在リテハ一般中隊ノ一般教育ノ概要

工兵隊ノ者 二種ノ中隊ヲ有スル大隊ノ者ニ在リテハ夫々他

中隊ノ作業教練ノ概要

鐵道隊ノ者 特業課目中少クモ一課目ノ概要

氣球隊ノ者 特業課目中少クモ一課目

各隊ノ者 視號通信(同光通信)ノ概要

第一百十三 第一年度下士官候補者ニ對スル學科ハ術科教育ニ關係ス

ル事項ヲ該教育ニ連繫シ深刻ニ教育スヘシ之カ爲第三十四ニ示セ

ルモノノ外附表第二十五ニ據ルモノトス

普通學ハ軍事知識ノ増進並將來ニ於ケル發達ノ基礎タルヘキモノ

ナルヲ以テ其素養ヲ顧慮シ之カ進歩ヲ圖ルヘシ

第一百十四 第一年度下士官候補者ニ對スル内務及諸勤務ハ兵トシテ

必要ナル事項ヲ特ニ實地ニ就キ教育シテ之ニ精通熟達セシムルヲ

要ス

第百十五 第二年度下士官候補者ニ對シテハ術科ハ初級下士官タルニ必要ナル技能ヲ具備シ且小ナル部隊ノ指揮及助教タルニ必要ナル教育法ヲ修得セシメ學科ハ下士官トシテ必要ナル識量ヲ與ヘ内務及諸勤務ニ關スル實務教育ハ初級下士官ノ職責ヲ盡シ得ル如ク特ニ實地ニ就キ十分ナル能力ヲ附與スルヲ要ス

陸軍通信學校及所澤陸軍飛行學校生徒ノ課程ヲ卒業シタル者ノ教育ハ前項ニ準シテ行ヒ特ニ軍隊ノ實情ヲ明ニシ指揮並教育法ヲ修得セシメ以テ優秀ナル下士官タラシムル如ク其修得セル専門技能ヲ向上セシムルヲ主眼トスヘシ

第百十六 下士官候補者ノ教育ニ任スル諸官ハ絶エス互ニ密接ナル連絡ヲ保持シ特ニ品性ヲ陶冶シ人格ヲ向上スルニ留意スルヲ要ス

下士官候補者教育

七十四

第一百十七 第一年度下士官候補者(航空兵隊ノ者ヲ除ク)ノ陸軍教導學校若ハ下士官
 候補者隊派遣前ノ教育ハ陸軍教導學校若ハ下士官候補者隊ノ教育
 ニ連繫スル如ク實施スヘシ其細部ニ就キテハ教育總監(特科兵種ニ在リ
 テハ當該兵監)
 之ヲ規定スルモノトス

第一百十八 軍隊ニ在ル下士官候補者隊ノ教育ニ就キテハ教育總監
(特科兵種ニ在リ
 テハ當該兵監)之ヲ規定スルモノトス

第九章 上等兵候補者教育

第一百十九 上等兵候補者教育ノ目的ハ兵ノ優秀ナル者ニ對シ一般兵ノ模範トナリ上等兵ノ職務ヲ執リ且所要ニ應シ簡單ナル實務ニ就キ下士官ヲ代理シ得ルノ技能ヲ具備セシムルニ在リ

第一百二十 上等兵候補者教育ハ中隊長ノ擔任トス而シテ其教育ハ一般教育ニ伴ヒ實施スルノ外勉メテ機會ヲ設ケテ之ヲ實施スヘシ

第一百二十一 上等兵候補者教育ハ概ネ第二期ノ初メ(飛行隊ニ在リテハ概ネ六月上旬)ヨリ之ヲ開始シ第一年度末マテニ完成スルモノトス但歩兵隊ニ在リテハ入營後六月マテニ内務及諸勤務ニ關シ上等兵ノ勤務ヲ執リ得ルニ至ラシムルヲ要ス

第一百二十二 術科ハ一般教育ノ課目ニ就キ其程度ヲ向上シテ教育シ

上等兵候補者教育

七十五

一般兵ノ模範タルヘキ技能ヲ備ヘシムルノ外小ナル部隊ノ指揮及
兵教育法ノ概要ヲ修得セシムルヲ要ス

第百二十三 學科ハ術科教育ニ關係スル事項ヲ勉メテ實地ニ就キテ
修得セシメ術科ノ進歩ニ資スルヲ要ス

第百二十四 内務及諸勤務ハ兵トシテ必要ナル事項ニ熟達セシメ且
所要ニ應シ下士官ニ代リテ職務ヲ執リ得ル如ク實地ニ就キ深厚ニ
之ヲ教育スルヲ要ス

第十章 幹部候補生教育

第二百二十五 幹部候補生教育ノ目的ハ堅強ナル志操ト高潔ナル品性トヲ陶冶シ以テ幹部タルヘキ人格ヲ養成シ且戰時初級士官又ハ下士官タルニ必要ナル能力ヲ具備セシムルニ在リ

第二百二十六 豫後備役幹部ノ品位ヲ高メ國軍ノ威力ヲシテ愈々大ナラシムルハ新進ノ豫備役幹部ニ待ツコト特ニ大ナリ從テ之カ後繼者タルヘキ者ハ單ニ學術ニ於テ戰時初級士官又ハ下士官タルノ技能ヲ具フルヲ以テ足レトセス在郷軍人ノ中樞タリ國民ノ儀表タルニ恥チサルノ實ヲ備ヘサルヘカラス故ニ本教育ヲ擔任スル者ハ須ラク此點ニ著意シテ教導訓育スヘシ

第二百二十七 幹部候補生ノ教育ニ方リテハ其教育時日ノ短少ナルニ

幹部候補生教育

七十七

鑑ミ特ニ素養ヲ利用スルト共ニ戰時ノ要求ニ基キ課目ノ輕重ヲ判別シ要ヲ摘ミ粹ヲ拔キ其喫緊トスルモノニ就キテハ十分深厚ニ之ヲ體得セシムルヲ要ス

第百二十八 歩兵、戰車、騎兵、高射砲、工兵、電信飛行及輜重兵隊ニ於ケル

幹部候補生(技術ニ從事スヘキ各兵科幹部候補生及各種幹部候補生ヲ除ク)ニ在リテハ左ノ如ク區分シ各之ニ

必要ナル教育ヲ行フモノトス

但其他ノ各部隊ニ於ケル幹部候補生(上記ニ)ノ教育ハ一般中隊要員

ニ必要ナル教育ヲ施スヘシ

歩兵隊 歩兵中隊、機關銃隊及歩兵砲隊要員

戰車隊(裝甲自動車隊ヲ有スルモノニ限ル) 戰車中隊及裝甲自動車隊要員

騎兵隊 騎兵中隊及騎兵機關銃隊(機關銃隊ヲ有スル騎隊ノミ)要員

高射砲隊 高射砲隊及照空隊要員

野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊 高射砲中隊要員

工兵隊 種類別ノ中隊要員

電信隊 有線隊及無線隊要員

飛行隊 空中勤務者要員及地上勤務要員

輕重兵隊 輕重兵中隊(行李ヲ含ム)及自動車隊要員

第百二十九 幹部候補生教育ハ通常聯隊ノ者ヲ要員ノ區分ニ應シ集合シ適任ノ佐官監督ノ下ニ選拔セル將校以下ヲシテ之ヲ實施セシムヘシ但内務及諸勤務ニ關スル實地ノ教育竝乙種幹部候補生ノ教育ハ所屬中隊長ノ擔任トシ要スレバ聯隊長適宜之ヲ規定スルコトヲ得

術科中幹部候補生ノミヲ以テ施行シ得サルモノ若ハ他ノ教育ト同時ニ行フヲ便トスルモノハ聯隊長適宜之ニ對スル教育ヲ規定スヘ

幹部候補生教育

七十九

シ
師旅團長ハ要スレハ臨時部下諸隊ノ甲種幹部候補生ノ全部若ハ一部ヲ合シ所要ノ教育ヲ實施スルコトヲ得
輜重兵隊ニ於ケル自動車隊要員ノ教育ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ據ル

第三百三十 幹部候補生教育ノ爲教育期間ヲ二期ニ分チ幹部候補生採用後概ネ三月間ヲ前期爾後ヲ後期トス

第三百三十一 前期ニ於テハ下士官タルニ要スル基礎事項ヲ深刻ニ修得セシメ後期ニ於テハ甲種幹部候補生ニ在リテハ主トシテ初級士官タルニ必要ナル事項ヲ十分ニ修得セシメ乙種幹部候補生ニ在リテハ下士官タルノ技能ヲ益々向上セシムルモノトス而シテ前期ニ於テハ下士官トシテノ教育ヲ又後期ニ於テハ甲種幹部候補生ノ初級

士官トシテノ教育ヲ成ルヘク速ニ開始スルモノトス

第三百三十二 幹部候補生ニ對スル術科教育ハ特ニ實兵指揮ノ能力ヲ養成スルコトヲ主眼トシ學科ハ主トシテ術科教育ヲ助成スル如ク之ニ連繫シテ實施スルヲ要ス但航經兵隊ニ在リテハ其素養ニ應シ本科専門技術中若干課目ニ就キ專修セシメ其業務ヲ分擔シ得ルヲ要ス

術科ハ附表第二十六其一、學科ハ附表第二十六其二ニ據リ之ヲ實施スヘシ

第三百三十三 技術ニ従事スヘキ各兵科幹部候補生ニ對シテハ幹部候補生採用後概ネ二月間附表第二十六其三ニ據リ教育ヲ實施スヘシ
技術ニ必要ナル教育ノ開始以後ニ在リテモ前項ノ教育ヲ向上シ且

精神教育内務ニ關スル實地ノ教育及劍術(甲種ニ在リテハ兩手軍刀、乙種ニ在リテハ短劍術)ノ教育ヲ實施スル爲毎週約一日ヲ使用スルモノトス聯隊長ハ之カ使用日ニ關シ技術ヲ教育スヘキ當該部隊長ト協議スルモノトス

第三百三十四 各部幹部候補生ニ對スル幹部トシテノ一般教育ハ採用ノ時ヨリ毎週概ネ二日宛三月間附表第二十六其四ニ據リ實施スヘシ

前項ノ教育終了後ニ在リテモ之ヲ益、向上シ且精神教育内務ニ關スル實地ノ教育、劍術(甲種ニ在リテハ兩手軍刀、乙種ニ在リテハ短劍術)及馬術ノ教育ヲ實施スル爲毎週約一日ヲ使用スルモノトス聯隊長ハ之カ使用日ニ關シ各部教育責任者ト協議スルモノトス

師團長ハ各部幹部候補生ヲ各兵ノ演習ニ勉メテ多ク參加セシムルモノトス

第三百三十五 幹部候補生ノ教育ニ任スル諸官ハ絶ニス互ニ密接ナル
 連絡ヲ保持シ志操ノ鍛錬品性ノ陶冶並學術科ノ進歩ヲ圖ルヲ要ス
 第三百三十六 幹部候補生ノ教育ハ之ヲ單ニ直接教育ノ任ニ當ル者ノ
 ミニ委スルコトナク全將校擧ツテ之カ誘掖指導ニ任シ時ニ其性格
 徳操ヲ涵養セシムルコトニ勉メサルヘカラス

第十一章 短期現役兵教育

第三百三十七 短期現役兵教育ノ目的ハ堅確ナル軍人精神ヲ涵養シ嚴肅ナル軍紀ニ慣熟シ克ク軍隊ノ真情ヲ理解セシムルト共ニ概ネ下士官ニ必要ナル學術並汎ク軍事ニ關スル一般の智識ヲ修得セシメ以テ國民教育ト軍隊教育トノ連繫ヲ適切ナラシムルノ課量ヲ養成スルニ在リ

第三百三十八 短期現役兵ハ小學校ノ教職ニ在ル者ニシテ國民ニ建國ノ大本、護國ノ重任ヲ理解セシメ且兵役ノ精神ヲ徹底セシムルノ責務ヲ有ス從テ其軍事的教養ノ如何ハ直接軍隊繼承者ノ素養ニ關係ヲ及スノミナラス帝國ノ國防ニ至大ノ影響ヲ齎スモノトス故ニ之カ教育ニ任スル者ハ周密ナル注意ト各種ノ手段トヲ施シ造算ナキ

ヲ期セサルヘカラス

第三百三十九 短期現役兵ノ教育ハ其教育時日極メテ短少ナルニ比シ其教育事項ハ頗ル廣汎ナリ故ニ之カ教育ハ本教育ノ目的ニ鑑ミ課目ノ輕重ヲ考ヘ取捨宜シキヲ得ルト共ニ其素養ニ精ヘ適切ニ實施スルヲ要ス

第四百十 聯隊長ハ短期現役兵ヲ人員ノ多寡等ニ應シ適宜中隊ニ配屬スヘシ

第四百十一 短期現役兵教育ハ聯隊ノ者ヲ合シ適任ノ佐官監督ノ下ニ選拔セル將校以下ヲシテ之ヲ實施セシムヘシ但内務及諸勤務ニ關スル實地ノ教育ハ所屬中隊長ノ擔任トシ要スレハ聯隊長適宜之ヲ規定スルコトヲ得

術科中短期現役兵ノミヲ以テ施行シ得サルモノ若ハ他ノ教育ト同

時ニ行フヲ便トスルモノハ聯隊長適宜之ニ對スル教育ヲ規定スヘシ

第四百十二 學術科ノ教育ハ附表第二十七ニ據リ之ヲ實施スヘシ

内務及諸勤務ノ教育ハ其一般ヲ實地ニ就キ修得セシムルト共ニ下士官以下ニ親炙シ其境遇ヲ體驗セシムヘシ

第四百十三 短期現役兵ノ教育ニ任スル諸官ハ絶エス互ニ密接ナル連絡ヲ保持シ志操ノ鍛鍊、品性ノ陶冶並學術科ノ進歩ヲ圖ルヲ要ス

第十二章 補充兵教育

第四百四十四 補充兵教育ノ目的ハ特ニ軍人精神ヲ涵養シ一般教育ヲ受ケタル兵ニ伍シテ戦闘及戦時ノ諸勤務ニ従事シ得ルノ技能ヲ養成スルニ在リ

第四百四十五 聯隊長ハ補充兵ヲ人員ノ多寡等ニ應シ適宜中隊ニ配屬スヘシ

第四百四十六 補充兵教育ハ通常聯隊ノ者ヲ合シ聯隊附佐官監督ノ下ニ指命セル將校以下ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但内務ニ關スル資地ノ教育ハ所屬中隊長ノ擔任トシ要スレハ聯隊長適宜之ヲ規定スルコトヲ得

第四百四十七 術科ハ附表第二十八ニ據リ學科ノ教育ニ關シテハ第三

3080

補充兵教育

十四乃至第三十六ヲ適用スヘシ但學科中在郷軍人ノ心得ハ特ニ意
ヲ用ヒテ教育シ其他ハ直接緊要ナル事項ノミニ止ムルモノトス

九十

第十三章 勤務演習教育

第一節 要旨

第四百十八 勤務演習教育ハ復習ノ爲行フ教育ト豫後備役將校下士官進級ノ爲行フ教育トニ分ツ

抑有事ノ日國軍ノ大部ヲ組成スルモノハ即チ在郷軍人ニシテ其精粗強弱ハ實ニ軍ノ戰鬪力ニ至大ノ關係ヲ有ス加之在郷軍人ハ一般國民ノ中堅トシテ誠忠殉國ノ精神ヲ居常民衆ノ間ニ充溢セシムヘキモノナリ故ニ之カ教育ニ方リテハ國軍ノ境遇ト在郷軍人ノ使命トニ積ヘ特ニ軍人精神ノ涵養軍紀ノ振作ニ勉ムルヲ要ス

第四百十九 聯隊長ハ要スレハ聯隊附佐官ヲシテ勤務演習教育ヲ監督セシムルモノトス

第五十 勤務演習教育ノ日數ハ極メテ短少ナルノミナラス又年次ニ依リ教育ニ差異アルヘキヲ以テ此教育ニ任スル者ハ戰時ノ要求ヲ基礎トシ且役種又ハ年次ニ從ヒ戰時ノ充用ヲ考慮シ各課目ノ輕重ヲ審別シ特ニ軍事ノ進歩ニ照ラシ戰場必須ノ事項ニ力ヲ注キ且氣力ヲ練磨スルヲ要ス之カ爲適切ナル計畫ヲ立テ周密ナル注意ヲ以テ之ヲ實施スルコト緊要ナリ

第五十一 勤務演習召集間將校以下ニ對シテハ其年次、體力等ニ鑑ミ特別ノ注意ヲ加ヘ且自ラ進ンテ軍務ニ服スル如ク指導シ特ニ軍紀、風紀ヲ確立セシムルコト緊要ナリ

第二節 復習ノ爲行フ教育

第五十二 復習ノ爲行フ教育ノ目的ハ専ラ戰闘及戰時ノ諸勤務ニ

堪へ得へキ能力ヲ保持増進セシムルニ在リ

第一百五十三 聯隊長ハ將校ヲ其階級ニ應シ聯(大)中隊ニ、准士官以下ヲ人員ノ多寡ニ應シ適宜配屬スヘシ但成ルヘク舊所屬中隊ニ配屬スルコトニ留意スルヲ要ス

豫備役見習士官タル幹部候補生ハ人員ノ多寡等ニ應シ適宜中隊ニ配屬スヘシ

第一百五十四 將校、准士官ニ對スル術科ノ教育ハ所屬隊長ヲシテ擔任セシメ兵種ノ必要ニ鑑ミ主トシテ實兵指揮、教育法、射撃、馬術、空中勤務及其他ノ技術ニ就キ技能ヲ増進セシメ學科ノ教育ハ通常聯隊長ノ選拔セル將校ヲシテ擔任セシメ主トシテ典、令、範ニ就キ其學識ノ練磨ヲ圖ルヘシ

聯(大)隊長ハ要スレハ指令セル將校ヲシテ術科教育ノ全部若ハ一部

ヲ擔任セシムルコトヲ得

佐官ノ教育ハ聯隊長自ラ之ヲ行ヒ若ハ聯隊附佐官ヲシテ之ニ任セシムヘシ

准士官ハ之ヲ將校ニ合シテ教育スルコトヲ得

第一百五十五 豫備役見習士官タル幹部候補生ニ對スル教育ハ前條ニ準シテ實施シ既ニ修得セル學術ニ就キ應用ノ能力ヲ増進シ特ニ實兵指揮ノ技能ヲ向上シ統御ノ道ヲ會得セシムルモノトス

第一百五十六 下士官ノ教育ハ所屬中隊長ノ擔任トシ兵種ノ必要ニ鑑ミ主トシテ實兵指揮、教育法、射撃、馬術、空中勤務及其他ノ技術ニ就キ技能ノ向上ヲ圖ルヘシ

聯(大)隊長ハ要スレハ指令セル將校ヲシテ學術科教育ノ全部若ハ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

第百五十七 兵ノ教育ハ所屬中隊長ノ擔任トシ附表第二十九ニ據リ之ヲ實施シ且特ニ志氣ヲ緊張セシムルコトニ著意スヘシ但所屬中隊ニ於テ其教育ヲ實施スルコト困難ナル場合ニ於テハ聯(大)隊長ハ之ヲ聯(大)隊長ニ合シ指令セル將校以下ヲシテ教育ニ任セシムルコトヲ得

第百五十八 特業者(傭手)ニ對スル教育ハ教育日數、教育ノ方法等概ネ

第三章ノ規定ヲ準用シ其能力ヲ保持増進セシムルモノトス

第百五十九 特種ノ戰時職務又ハ要員ニ充當セラレタル者ニ對シテハ機會ヲ設ケ之ニ必要ナル事項ヲ併セ教育スルヲ要ス之カ爲要スレハ師團長ハ適宜之カ教育ヲ規定スヘシ

士官勤務適任證書若ハ下士官適任證書ヲ有スル者ニハ之ニ適應スル教育ヲ施シ又現役中分業者ハ空中勤務ノ教育ヲ受ケタル者ニ對

シテハ戦時ノ充用ヲ願慮シテ復習教育ヲ行フヲ要ス

第三節 豫、後備役將校、下士官進級ノ

爲行フ教育

第六十 進級ノ爲行フ教育ノ目的ハ特ニ進級ノ爲必要ナル技能ヲ
修得セシムルニ在リ

第六十一 聯隊長ハ將校及下士官ノ爲前節ニ準シ教育ヲ實施シ主
トシテ實兵指揮技能ノ向上ヲ圖リ爾餘ノ學術科ハ之カ補助タラシ
ムルノ程度ニ止ムルモノトス

第十四章 檢閲及講評

第六十二 檢閲ノ目的ハ軍隊教育ノ成績ヲ檢シ其進歩發達ヲ促スニ在リ

第六十三 檢閲官ハ即チ教育ノ責任者ナルヲ以テ平素ヨリ自己ノ意圖ヲ部下ニ示シ且絶エス之ヲ監督指導スルト共ニ檢閲ニ方リテハ其成績ニ就キ自己施設ノ適否監督者並教育者努力ノ結果ヲ觀察シ以テ自他ヲ利シ將來ヲ戒ムルノ效果ヲ收ムルヲ要ス

第六十四 檢閲官ハ自ラ檢閲課目ヲ命シ其成績ヲ檢シ且之ヲ講評ス而シテ其檢閲ノ方法著眼並講評ノ適否ハ軍隊教育ノ成果ニ至大ノ影響ヲ及スモノトス
檢閲ノ方法ハ教育課目及要求程度ニ鑑ミ其成績ヲ檢スルト同時ニ

又軍隊教育ノ目的ヲ達成スル一手段タルニ適セサルヘカラス

第百六十五 檢閲ヲ行フニ方リテハ深ク内容ヲ審ニシ實地ニ就キテ教育ノ成績ヲ檢シ能ク戰時ノ要求ニ適合シアリヤ否ヤヲ觀察スルヲ要ス單ニ外形ノミニ著意シ若ハ簿表ニ依リテ其成果ヲトスルカ如キハ嚴ニ之ヲ戒メサルヘカラス

第百六十六 平素ニ於ケル教練、演習特ニ檢閲ノ成果ヲ講評スルハ過去ヲ戒メ將來ヲ利スル爲最モ緊要ノ事ニ屬ス從テ講評者ハ須ラク平素訓練ノ實情ヲ明ニシ事ノ輕重本末ヲ別チ其可否ノ原因ヲ究メ且責任者ノ身分、地位ニ鑑ミ肖察ニ中ル如ク適評ヲ下シ之ヲ以テ直ニ教育ノ進歩ニ資セシムルヲ要ス若否スシテ其適切ヲ缺キ又ハ其眞意ヲ捕捉シ難キ講評ヲ爲スカ如キコトアラハ軍隊ニ及ス弊害實ニ尠カラサルモノトス

第百六十七 講評ヲ爲スニ方リ成績ノ優秀ナル者ニ對シテハ益、向上發達ヲ促シ成績ノ奉ラサル者ニ對シテハ特ニ意ヲ注キテ深ク實情ヲ究メ誤謬、不熟等ノ爲勉メテ成ラサル者ハ懇切ニ之ヲ指導シ若慮慢、不熱心ニ出ツルカ如キ者アラハ嚴ニ之ヲ教誡シテ悔悟猛省セシムルヲ要ス

第百六十八 講評ニ於テハ過失、怠慢等直ニ改悛セシムヘキモノト將來ノ指針タルヘキモノ若ハ研究、參考ノ資ト爲スヘキモノトハ明ニ之ヲ區別シテ示スヲ要ス

第百六十九 各隊ニ於テ毎年施行スヘキ檢閲ハ附表第三十ノ如シ
第百七十 部下聯隊長檢閲ヲ行フ場合ニ於テハ上官ハ勉メテ之ニ臨場シ檢閲全般ニ關シ所見ヲ開陳スヘキモノトス聯隊長部下將校ヲシテ檢閲セシムル場合ニ於テモ亦然リ

檢閲及鑑評

第七十一 檢閲實施後聯隊長ハ其成績ノ概況ヲ直上ノ上官ニ報告
スヘシ但戰車、騎、砲、工、航空及輜重兵ノ本科専門ニ關スル事項ハ當該
聯隊長ヨリ戰車隊ニ在リテハ教育總監、航空兵隊ニ在リテハ陸軍航
空本部長其他ニ在リテハ當該兵監ニモ報告スルモノトス

百

附則

編制制度ノ改正等ノ爲必要已ムヲ得サル場合ニ於テハ教育總監ハ
教育上一時所要ノ規定ヲ爲スコトヲ得

戰車隊ノ戰車専門ニ關スル事項ノ教育及檢閲ニ就キテハ教育總監
之ヲ區處スルモノトス

陸軍補充令附則第二條乃至第四條ニ該當スル者ノ教育ハ本令ニ據
ルノ外教育總監ノ定ムル所ニ據ル

航空兵隊ノ下士官候補者ノ教育ハ當該學校ニ於テ實施スルコトヲ
得

前項ノ場合下士官候補者所屬部隊及被派遣學校ニ於ケル教育ノ連
繫ニ關シテハ陸軍航空本部長之ヲ規定スルモノトス

3092

軍隊教育令終

昭和二年軍令陸第五號ハ之ヲ廢止ス

附則

二五

附表第一其一

歩兵隊教育順次表（一期入營部隊）

小 輕機關銃

考 備	教育期			課 目	摘 要
	期 三 第	期 二 第	期 一 第		
	旬下月一十至	月六後營入兵年初至	旬上 月二十 自 月三後營入兵年初至	各 個 教 練 體 操 銃 劍 術 射 擊 中 隊 教 練 陣 中 動 務	
	一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜ノ力教育ヲ規定ス ルモノトス 二、聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スルハ若干ノ尉官、特務曹長及下士官ニ 機關銃及歩兵砲ノ教育ヲ爲スモノトス 三、手榴彈ノ用法ハ第一期ニ於テ其要領ヲ會得セシメ第二期末マテニ完全ニ 教育シ習熟スルニ至ラシムルモノトス 四、擲彈筒ノ用法ハ適宜ノ時期ニ於テ小銃手ニ對シ概ネ其要領ヲ又左記ノ者 ニ對シ其用法ニ習熟シ特ニ射擊ノ要領ヲ修得セシム 中隊附將校、下士官 全 員 各年次小銃手 若干名 五、輕機關銃手ニ對スル拳銃ノ取扱法及射擊ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモ ノトス 六、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノト ス	第一、第二期ノ課目 聯 隊 教 練 師 團 秋 季 演 習	第一期ノ課目 大 隊 教 練 諸 兵 連 合 演 習	第一、第二期ノ課目 陣 中 動 務 射 擊 銃 劍 術 中 隊 教 練 陣 中 動 務	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程 度ニ達セシムルヲ要ス 各 個 教 練 銃 劍 術 射 擊 體 操 中 隊 教 練 陣 中 動 務 二、輕機關銃手ニ對シ短劍術ノ要領ヲ修 得セシム 三、體操ハ完全ニ修得セシム 四、陣中勤務ハ完全ニ、大隊教練ハ略、完 全ニ之ヲ修得セシム 五、作業ハ散兵壕（輕機關銃手ニ在リテ）ノ構 築並器具ニ依ル障礙物ノ破壞ヲ修得セ シメ且障礙物、輕掩蔽部ノ構築法及偽 裝ノ要領ヲ會得セシム 六、退營期マテニ小銃手ニ在リテハ輕機 關銃ニ關スル基礎動作ノ概要ヲ、輕機 關銃手ニ在リテハ小銃手ノ動作ヲ略、 完全ニ修得セシム

附表第一其二

歩兵隊教育順次表(二期入營部隊)

小機關銃

考 備	期 四 第	期 三 第	期 二 第	期 一 第	教 育 期	課 目	摘 要
	旬下月一十至	兵年初期後至 月三後營入	兵年初期前至 月六後營入	旬上月二十自 月三後營入兵年初期前至			
<p>一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>二、聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スレハ若干ノ尉官、特務曹長及下士官ニ機關銃及歩兵砲ノ教育ヲ爲スモノトス</p> <p>三、手榴彈ノ用法ハ第一期ニ於テ其要領ヲ會得セシメ第二期末マテニ完全ニ教育シ習熟スルニ至ラシムルモノトス</p> <p>四、擲彈筒ノ用法ハ適宜ノ時期ニ於テ小銃手ニ對シ概ネ其要領ヲ又左記ノ者ニ對シ其用法ニ習熟シ特ニ射擊ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>中隊附將校、下士官 全 員</p> <p>各年次小銃手 若干名</p> <p>五、輕機關銃手ニ對スル拳銃ノ取扱法及射擊ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>六、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス</p>	<p>第一、第二期ノ課目</p> <p>聯 隊 教 練</p> <p>師 團 秋 季 演 習</p>	<p>第一、第二期ノ課目</p> <p>(後期入營初年兵ニ在リテハ第一期ノ課目ノミ)</p>	<p>第一期ノ課目</p> <p>大 隊 教 練</p> <p>諸 兵 連 合 演 習</p>	<p>各 個 教 練</p> <p>體 操</p> <p>銃 劍 術</p> <p>射 擊 (距離測量)</p> <p>中 隊 教 練</p> <p>陣 中 勤 務</p>	<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス</p> <p>各 個 教 練 ハ 小 銃 手 ニ 在 リ テ ハ 徒 手 及 執 銃 (小銃) 教 練 ヲ 完 全 ニ 修 得 セ シ ム</p> <p>在 略 リ テ ハ 徒 手 教 練 ヲ 完 全 ニ 修 得 セ シ ム</p> <p>輕 機 關 銃 ノ 教 練 ヲ 完 全 ニ 修 得 セ シ ム</p> <p>銃 劍 術 ハ 基 本 動 作 ヲ 略、 完 全 ニ 修 得 セ シ ム</p> <p>中 隊 教 練 ハ 小 隊 ノ 密 集 教 練 ヲ 完 全 ニ 修 得 セ シ ム</p> <p>陣 中 勤 務 ハ 主 要 ヲ 修 得 セ シ ム</p> <p>射 擊 ハ 全 體 ヲ 修 得 セ シ ム</p> <p>體 操 ハ 完 全 ニ 修 得 セ シ ム</p> <p>二、輕機關銃手ニ對シ短劍術ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>四、第二期ニ於テ中隊ヲ以テスル教練及陣中勤務ハ完全ニ大隊教練ハ略、完全ニ之ヲ修得セシム</p> <p>五、作業ハ散兵壕(輕機關銃手ニ在リテハ)ノ構築並器具ニ依ル障礙物ノ破壞ヲ修得セシム</p> <p>裝 置 要 領 ヲ 會 得 セ シ ム</p> <p>退 營 期 マ テ ニ 小 銃 手 ニ 在 リ テ ハ 輕機關銃手ニ對シ基礎動作ノ概要ヲ、輕機關銃手ニ在リテハ小銃手ノ動作ヲ略、完全ニ修得セシム</p>		

歩兵機關銃隊教育順次表（二期入營部隊） 機關銃

考 備	期 三 第		期 二 第		期 一 第		教 育 期	課 目	摘 要					
	月一十至	月一十至	月一十至	月一十至	旬 上 月 二 自	旬 上 月 二 自								
<p>一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>二、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>三、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス</p>	下	下	初至	初至	初至	初至	初至	<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス</p> <p>各個教練中徒手教練ハ完全ニ、執銃（小銃）教練ハ其概要ヲ修得セシム</p> <p>劍術ハ短劍術ノ基本動作ヲ略シ、完全ニ修得セシム</p> <p>中隊教練ハ集合及行軍ニ必要ナル事項ヲ修得セシム</p> <p>機關銃分隊教練ハ略シ、完全ニ修得セシム</p> <p>陣中勤務ハ主トシテ機關銃隊ノ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ修得セシム</p> <p>歩哨ノ動作ノ要領ヲ會得セシム</p> <p>二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス</p> <p>三、中隊ヲ以テスル機關銃ノ教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム</p> <p>四、劍術ハ短劍術ヲ完全ニ、銃劍術ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>五、作業ハ機關銃掩體ノ構築及偽裝ヲ修得セシム且掩蔽部ノ構築法ノ要領ヲ會得セシム</p>	第一、第二期ノ課目	第一期ノ課目	第一期ノ課目	第一期ノ課目	第一期ノ課目	第一期ノ課目
	師團秋季演習	師團秋季演習	師團秋季演習	師團秋季演習	師團秋季演習	師團秋季演習	師團秋季演習		師團秋季演習					

歩兵機關銃隊教育順次表（二期入營部隊） 歩兵砲

考 備	期 三 第	期 二 第	期 一 第	教 育 期	課 目	摘 要
	月一十至 旬 下	月六後營入兵年初至	旬 上 月 二 十 自 月三後營入兵年初至	旬 上 月 二 十 自 月三後營入兵年初至		
<p>一、歩兵砲射撃演習ノ實施ニ關シ要スレハ旅團長若ハ師團長ニ於テ適宜區處スルモノトス</p> <p>二、游泳及漕舟ハ街成地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>三、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>四、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス</p>	第一、第二期ノ課目 師團秋季演習	第一期ノ課目 作 業 歩兵砲小隊教練 歩兵砲射撃演習 歩兵部隊内ニ於ケル歩兵砲ノ教練 諸兵連合演習	陣 中 勤 務 歩兵砲分隊教練 中 隊 教 練 小銃射撃（距離測定ヲ含ム） 劍 術 操 練 體 操 各 個 教 練	自 初 年 兵 入 營 後 三 月 旬 上 二 十 日 至 初 年 兵 入 營 後 六 月 旬 下	各 個 教 練	<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス</p> <p>各個教練中徒手教練ハ完全ニ、執銃（小銃）教練ハ其概要ヲ修得セシム</p> <p>劍術ハ短劍術ノ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム</p> <p>中隊教練ハ集合及行軍ニ必要ナル事項ヲ修得セシム</p> <p>歩兵砲分隊教練中平射砲ハ略、完全ニ、曲射砲ハ基本教練ノ概要ヲ修得セシム</p> <p>陣中勤務ハ主トシテ歩兵砲隊ノ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ修得セシム歩哨ノ動作ノ要領ヲ會得セシム</p> <p>二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス</p> <p>三、小隊ヲ以テスル歩兵砲ノ教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム</p> <p>四、劍術ハ短劍術ヲ完全ニ、銃劍術ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>五、作業ハ歩兵砲掩體ノ構築及偽裝ヲ修得セシム且掩蔽部ノ構築法ノ要領ヲ會得セシム</p>

步兵機關銃隊教育順次表（二期入營部隊） 機關銃

考 備	期 四 第	期 三 第	期 二 第	期 一 第	教 育 期	課 目	摘 要
	月一十至 旬 下	兵年初期後至 月三後營入	月六後營入兵年初期前至	旬 上 月 二 十 自 月三後營入兵年初期前至			
一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ願慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス	第一、第二期ノ課目 師團秋季演習	第一、第二期ノ課目 <small>（後期入營初年兵ニ在リテハ第一期ノ課目ノミ）</small>	第一期ノ課目 機關銃中隊教練 步兵部隊内ニ於ケル機關銃ノ教練 諸兵連合演習	第一期ノ課目 中隊教練 機關銃分隊教練 <small>（取法教練ヲ含ム）</small> 機關銃射擊 陣中勤務	自前至 初年兵 二期 十月 二 月 上旬 三	各個教練 體操 劍術 小銃射擊 <small>（距離測定ヲ含ム）</small> 中隊教練 機關銃分隊教練 機關銃射擊 陣中勤務	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 各個教練中徒手教練ハ完全ニ、執銃（小銃）教練ハ其概要ヲ修得セシム 劍術ハ短劍術ノ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム 中隊教練ハ集合及行軍ニ必要ナル事項ヲ修得セシム 機關銃分隊教練ハ略、完全ニ修得セシム 陣中勤務ハ主トシテ機關銃隊ノ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ修得セシメ歩哨ノ動作ノ要領ヲ會得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、中隊ヲ以テスル機關銃ノ教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム 四、劍術ハ短劍術ヲ完全ニ、銃劍術ノ要領ヲ修得セシム 五、作業ハ機關銃掩體ノ構築及偽裝ヲ修得セシメ且掩蔽部ノ構築法ノ要領ヲ會得セシム

2608

附表第二其四

		步兵機關銃隊教育願次表 (二期入營部隊) 歩兵砲			
考 備	期 四 第	期 三 第	期 二 第	期 一 第	教育期
					課 目
	月一十至 旬 下	兵年初期後至 月三後營入	月六後營入兵年初期前至	旬 上 月 二 十 自 月三後營入兵年初期前至	各 個 教 練 體 操 劍 術 小銃射撃 (距離測量) 中 隊 教 練 歩兵砲分隊教練 陣 中 (取法教練ヲ含ム) 動 務
	第一、第二期ノ課目 師 團 秋 季 演 習	第一、第二期ノ課目 (後期入營初年兵ニ在リ テハ第一期ノ課目ノミ)	第一 期ノ課目 歩兵砲小隊教練 歩兵砲射撃演習 歩兵部隊内ニ於ケル歩 兵砲ノ教練 諸 兵 連 合 演 習	第一 期ノ課目 業 歩兵砲小隊教練 歩兵砲射撃演習 歩兵部隊内ニ於ケル歩 兵砲ノ教練 諸 兵 連 合 演 習	摘 要 一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程 度ニ達セシムルヲ要ス 各個教練中徒手教練ハ完全ニ、執銃 (小銃)教練ハ其概要ヲ修得セシム 劍術ハ短劍術ノ基本動作ヲ略シ、完全 ニ修得セシム 中隊教練ハ集合及行軍ニ必要ナル事 項ヲ修得セシム 歩兵砲分隊教練中平射砲ハ略シ 完全 ニ、曲射砲ハ基本教練ノ概要ヲ修得 セシム 陣中勤務ハ主トシテ歩兵砲隊ノ行軍 及宿營ニ關シ其概要ヲ修得セシム歩 哨ノ動作ノ要領ヲ會得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施 スルモノトス 三、小隊ヲ以テスル歩兵砲ノ教練及陣中 勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム 四、劍術ハ短劍術ヲ完全ニ、銃劍術ノ要 領ヲ修得セシム 五、作業ハ歩兵砲掩體ノ構築及偽裝ヲ修 得セシム且掩蔽部ノ構築法ノ要領ヲ會 得セシム
考 備	一、歩兵砲射撃演習ノ實施ニ關シ要スレハ旅團長若ハ師團長ニ於テ適宜區處 スルモノトス 二、游泳及漕舟ハ衝成地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定ス ルモノトス 三、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモ ノトス 四、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノト ス				

戰車隊教育順次表

戰車中隊

考	備	期三第	期二第	期一第	教育期	課目	摘要
		至十一月下旬	至九月下旬	自四月至二月下旬		徒歩教練 體操 銃劍術 小銃射擊(距離測量) 單車射擊 戰車射擊 戰車工務 陣中勤務	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、連歩中隊各徒手各個教練ハ完全ニ、執銃(小銃)集合及行軍ニ必要ナル事項ノ概要ヲ練ハセシム 三、銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 四、銃劍術ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ射撃ハ完全ニ修得セシム 五、戰車射撃ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 六、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 七、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 八、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 九、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十一、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十二、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十三、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十四、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十五、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十六、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十七、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十八、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 十九、陣中勤務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム 二十、戰車工務ハ射撃ノ概要ヲ修得セシム
		第一、第二期ノ課目 大隊教練 諸兵連合演習	第一期ノ課目 中隊教練 他兵種特ニ歩兵部隊ト連合スル戰車ノ教練 射擊演習				
	一、重戰車及特種戰車ノ教育ハ各分業ニ從ヒ若干名ニ對シ其概要ヲ修得セシム 二、側車附自動二輪車、乘用自動車及自動貨車ノ教育ハ操縦手若干名ニ對シ第二期ニ於テ實施スルモノトス 三、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 四、汽車及船舶ノ搭卸並銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 五、退營期マテニ短劍術ノ概要ヲ修得セシム 六、師團秋季演習ニハ時宜ニ依リ參加スルモノトス						

戰車隊教育順次表

裝甲自動車隊

考 備	期 三 第			期 二 第			期 一 第			教 育 期	課 目	摘 要
	旬 下 月 一 十 至			旬 下 月 九 至			旬 上 月 二 十 自 至					
<p>一、輕戰車及特種戰車ノ教育ハ各分業ニ從ヒ若干名ニ對シ其概要ヲ修得セシムルモノトス</p> <p>二、側車附自動二輪車、乗用自動車及自動貨車ノ教育ハ操縦手若干名ニ對シ第二期ニ於テ實施スルモノトス</p> <p>三、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>四、汽車及船舶ノ搭卸並掌銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>五、退營期マテニ短劍術ノ概要ヲ修得セシム</p> <p>六、師團秋季演習ニハ時宜ニ依リ參加スルモノトス</p>	<p>第一、第二期ノ課目</p> <p>諸兵連合演習</p>			<p>第一期ノ課目</p> <p>裝甲自動車隊教練 他兵種特ニ騎兵部隊ト 連合スル裝甲自動車ノ 射撃演習</p>			<p>徒歩教練</p> <p>銃劍術</p> <p>小銃射撃(距離測定)</p> <p>單車教練</p> <p>裝甲自動車射撃</p> <p>裝甲自動車工務</p>			<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス</p> <p>二、徒歩教練中徒歩各隊員ハ完全ニ、銃(小銃)集合及行軍ニ必要ナル事項ノ概要ヲ修得セシム</p> <p>三、銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>四、單車教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ完全ニ修得セシム</p> <p>五、裝甲自動車射撃ハ射撃ニ對シ機關砲ノ停止間ニ於ケル射撃及輕機關銃ノ射撃ハ其概要ヲ修得セシム</p> <p>六、裝甲自動車工務ハ日常ノ手人及給油ヲ應急修理ニ就キ其概要ヲ修得セシム</p> <p>七、陣中勤務ハ主トシテ裝甲自動車隊ノ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ修得セシム</p> <p>八、體操ハ教練ノ要領ヲ會得セシム</p> <p>九、徒歩中隊教練ハ小隊(執銃)以下トシ退營期マテニ其概要ヲ修得セシム</p> <p>十、營務ハ完全ニ修得セシム</p> <p>十一、於テ完全ニ修得セシム</p> <p>十二、構造ノ要領ヲ會得セシム</p> <p>十三、退營期マテニ操縦手ニ在リテハ操縦手ノ動作ノ概要ヲ完全ニ修得セシム</p>		

0018

騎兵隊教育順次表

考 備	教育期			課 目	摘 要
	期 三 第	期 二 第	期 一 第		
<p>一、游泳、漕舟及水馬ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>二、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃携帯者ニ對スル拳銃ノ取扱法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>三、機關銃隊ヲ有スル聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シ要スレハ若干ノ尉官、特務曹長及下士官ニ機關銃及輕機關銃ノ教育ヲ爲スモノトス</p> <p>四、騎兵旅團内機關銃隊ヲ有セサル聯隊(第一、第八)ニ於ケル聯(中)隊教練ニ機關銃及輕機關銃ヲ連合セシムル爲旅團長ハ適宜之ヲ規定スルモノトス</p> <p>五、近衛騎兵槍ノ操法ハ第二期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>六、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス</p>	<p>至十一月下旬</p> <p>第一、第二期ノ課目</p> <p>聯隊教練</p> <p>旅團教練</p> <p>師團秋季演習</p>	<p>至九月月上旬</p> <p>第一期ノ課目</p> <p>諸兵連合演習</p> <p>作業</p>	<p>自二十五月中旬旬</p> <p>各個教練</p> <p>體操</p> <p>劍術</p> <p>射擊<small>(距離演習ヲ含ム)</small></p> <p>中隊勤務</p> <p>陣中勤務</p>	<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス</p> <p>各個教練ハ略、完全ニ修得セシム</p> <p>劍術ハ片手軍刀術ノ基本動作ヲ略、完全ニ、應用動作<small>(乘馬)</small>ノ概要及銃劍術ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>中隊教練ハ徒步分隊教練ノ基礎的事項ヲ略、完全ニ修得セシム且徒步及乘馬ノ小隊ニテ集合及行軍ニ必要ナル事項ヲ會得セシム</p> <p>陣中勤務ハ騎哨ノ動作ヲ略、完全ニ、傳令ノ動作ニ就キテハ其概要ヲ修得セシム又連絡兵ノ動作及行軍ニ關シ其要領ヲ會得セシム</p> <p>二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス</p> <p>三、中隊ヲ以テスル教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム</p> <p>四、作業ハ築城及交通ニ關スル簡易ナル設備ニ就キ其要領ヲ會得セシム又破壊作業ヲ實施シ得シム</p>	

騎兵機關銃隊教育願次表

考 備	教育期			課 目	摘 要
	期 三 第	期 二 第	期 一 第		
	月一十至 旬 下	旬 上 月 九 至	旬 上 月 二 十 自 旬 中 月 六 至	師 第一、第二期ノ課目 團 秋季演習	各 個 教 練 體 操 射 擊 (狙撃演習ヲ含ム) 中 隊 教 練 機 關 銃 分 隊 教 練 (取法教練ヲ含ム) 機 關 銃 分 隊 教 練 (取法教練ヲ含ム)
	第一、第二期ノ課目 師 團 秋季演習	諸 兵 連 合 演 習 騎 兵 部 隊 内ニ於ケル機 關 銃 及 輕 機 關 銃 ノ 教 練 機 關 銃 小 隊 及 中 隊 教 練 機 關 銃 中 隊 教 練 輕 機 關 銃 中 隊 教 練 騎 兵 部 隊 内ニ於ケル機 關 銃 及 輕 機 關 銃 ノ 教 練 諸 兵 連 合 演 習	第 一 期 ノ 課 目 劍 術 陣 中 勤 務 作 業	九、機關銃手ニ對スル機關銃ノ概要ヲ修得セシム 八、騎兵部隊内ニ於ケル機關銃ノ教練ヲ行ヒ之ニ習熟セシム 七、中隊ヲ以テスル機關銃及輕機關銃ノ設備ヲ要領ヲ會得セシム 六、機關銃ノ要領ヲ會得セシム 五、陣中勤務ノ要領ヲ會得セシム 四、基本動作ノ要領ヲ會得セシム 三、劍術ハ片手刀ヲ修得セシム 二、中隊ノ教練ハ小隊以下トシ退營期マテスルモトス 一、體操ハ教練ノ進度ニ伴ヒ實施ス	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス ニ、各機關銃手ニ在リテハ機關銃ノ教練ハ基礎トナルヘキモノニシテ、機關銃ノ教練ニ在リテハ輕機關銃徒歩教練並ニ輕機關銃ノ教練ヲ修得セシム 三、其他ノ要領ヲ會得セシム 四、中隊ノ教練ハ徒歩小隊ニテ整理並側面機關銃及輕機關銃ヲ修得セシム 五、機關銃ノ教練ハ完全ニ修得セシム 六、體操ハ教練ノ進度ニ伴ヒ實施ス 七、中隊ノ教練ハ小隊以下トシ退營期マテスルモトス 八、劍術ハ片手刀ヲ修得セシム 九、基本動作ノ要領ヲ會得セシム 十、陣中勤務ノ要領ヲ會得セシム 十一、機關銃ノ要領ヲ會得セシム 十二、機關銃ノ設備ヲ要領ヲ會得セシム 十三、中隊ヲ以テスル機關銃及輕機關銃ノ教練ヲ行ヒ之ニ習熟セシム 十四、騎兵部隊内ニ於ケル機關銃ノ教練ヲ行ヒ之ニ習熟セシム 十五、機關銃手ニ對スル機關銃ノ概要ヲ修得セシム
一、游泳、漕舟及水馬ハ衝成地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜ノカ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃ノ取扱法及射擊ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス					

附表第六

野砲兵隊教育順次表		野砲兵隊内ニ在ル (高射砲隊ヲ除ク)	
教育期	課目	摘要	備考
第一 期	自 徒 步 教 練 至 小 銃 ノ 使 用 及 戰 闘 法 二 月 四 日 至 二 月 十 四 日	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程 度ニ達セシムルヲ要ス 徒歩教練中各個教練ハ完全ニ修得セ シメ中隊教練ハ其要領ヲ會得セシ ム 小銃ノ使用及戰闘法ハ小銃ノ使用法 及射撃ノ要領ヲ會得セシム 劍術ハ短劍術ノ要領ヲ修得セシム 分隊教練ハ各分業ニ從ヒ砲手ノ動作 ハ略、完全ニ、取者ノ動作ハ平易ナ ル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及步 哨ノ動作ニ關シ其概要ヲ會得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施 スルモノトス 三、中隊ヲ以テスル教練及陣中勤務ハ第 二期ニ於テ完全ニ修得セシム 四、砲手ニ對スル馬術ハ平易ナル野外騎 乗ヲ實施シ得ルニ至ラシム 五、劍術ハ短劍術ヲ略、完全ニ、銃劍術 ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 六、作業ハ砲兵ノ掩體、觀測所ノ構築及 簡易ナル交通設備並偽裝ノ概要ヲ修得 セシム 七、退營期マテニ砲手ニ對スル取者ノ教 育ハ中隊取者タルノ程度ニ、取者ニ對 スル砲手ノ教育ハ照準手以外ノ砲手タ ルノ程度ニ達セシム	一、游泳、漕舟及水馬ハ衝成地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ 規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、拳銃ノ使用法及射撃ハ拳銃携帶者(位長勤務上)ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ教 育スルモノトス 四、初年兵中新馬調教手ニ充ツヘキ者ハ五月上旬ヨリ所要ノ教育ヲ爲スモノ トス 五、大隊教練ハ射撃演習時期ノ關係ニ依リ第二期ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ 得 六、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノト ス
第二 期	第 一 期 ノ 課 目 至 七 月 下 旬	諸 兵 連 合 演 習	
第三 期	第 一、第 二 期 ノ 課 目 至 十 一 月 下 旬	師 團 秋 季 演 習	

山砲兵隊教育順次表

考	備	教育期			課目	摘要
		期三第	期二第	期一第		
		旬下月一十至	旬下月七至	旬上月二十自 旬下月四至	徒歩教練 小銃ノ使用及戰術法 體操 劍術 分隊 陣中勤務	
		師團秋季演習	諸兵連合演習	第一期ノ課目 中隊教練 作中隊 諸兵連合演習	第一、第二期、課目 大隊教練 聯隊教練 射擊演習	
						一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 徒歩教練中各個教練ハ完全ニ修得セシム 中隊教練ハ其要領ヲ會得セシム 小銃ノ使用及戰術法ハ小銃ノ使用法及射擊ノ要領ヲ會得セシム 劍術ハ短劍術ノ要領ヲ修得セシム 分隊教練中砲手ノ動作ハ略、完全ニ修得セシメ馭者ノ動作ハ平易ナル局地ノ通過ニ支障ナキ程度ニ至ラシム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作ニ關シ其概要ヲ會得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、中隊ヲ以テスル教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム 四、劍術ハ短劍術ヲ略、完全ニ、銃劍術ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 五、作業ハ砲兵ノ掩體、觀測所ノ構築及簡易ナル交通設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム
		一、馬術ハ第一期ヨリ教育ヲ開始シ第二期末マテニ平易ナル野外騎乘ヲ實施シ得ルニ至ラシムルモノトス 二、游泳、漕舟及水馬ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 三、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 四、拳銃ノ使用法及射擊ハ拳銃携帶者(伍長勤務上)ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 五、初年兵中新馬調教ニ充ツヘキ者ハ第二期ノ初メヨリ所要ノ教育ヲ爲スモノトス 六、大隊教練ハ射擊演習時期ノ關係ニ依リ第二期ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ得 七、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス				

騎砲兵隊教育順次表

考 備		期 三 第	期 二 第	期 一 第	教 育 期	課 目	摘 要
		旬下月一十至	旬下月七至	旬上 月二 十五 自至 旬中 月五		徒 步 教 練 小銃ノ使用及戰闘法 體 操 劍 術 分 隊 教 練 陣 中 勤 務 馬 術	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、徒歩教練中各個教練ハ完全ニ修得セシム 三、中隊教練ハ其要領ヲ會得セシム 四、小銃ノ使用及戰闘法ハ小銃ノ使用法及射撃ノ要領ヲ會得セシム 五、劍術ノ要領ヲ會得セシム 六、分隊教練ハ各分業ニ從ヒ略、完全ニ修得セシム 七、陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作ニ關シ其概要ヲ修得セシム 八、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 九、中期ヲ以テスル教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム 十、劍術ハ短劍ヲ略、完全ニ、銃劍術ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 十一、築業ハ交通設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム 十二、易ナル交遊設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム 十三、退營期マテニ砲手ニ對スル取者ノ教育ハ中隊取者タルノ程度ニ、取者ニ對スル砲手ノ教育ハ照準手以外ノ砲手タルノ程度ニ達セシム
<p>一、游泳、漕舟及水馬ハ衝成地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>三、拳銃ノ使用法及射撃ハ全員ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>四、初年兵中新馬調教手ニ充ツヘキ者ハ五月上旬ヨリ所要ノ教育ヲ爲スモノトス</p> <p>五、大隊教練ハ適宜實施スルモノトス</p> <p>六、騎兵部隊内ニ於ケル騎砲兵ノ教練ハ第一期(第二年)、第二期ニ於テモ勉メラ之ヲ實施スルモノトス</p> <p>七、騎砲兵隊ヲ有スル騎兵旅團長ハ騎兵部隊内ニ於ケル騎砲兵ノ教練ニ關シ適宜之ヲ規定スルモノトス</p>		<p>第一、第二期ノ課目 射 擊 演 習 騎兵部隊内ニ於ケル騎砲兵ノ教練 師團秋季演習</p>	<p>第一期ノ課目 中 隊 教 練 業</p>	<p>自至 十五 月 二 旬上 徒 步 教 練 小銃ノ使用及戰闘法 體 操 劍 術 分 隊 教 練 陣 中 勤 務 馬 術</p>		<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、徒歩教練中各個教練ハ完全ニ修得セシム 三、中隊教練ハ其要領ヲ會得セシム 四、小銃ノ使用及戰闘法ハ小銃ノ使用法及射撃ノ要領ヲ會得セシム 五、劍術ノ要領ヲ會得セシム 六、分隊教練ハ各分業ニ從ヒ略、完全ニ修得セシム 七、陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作ニ關シ其概要ヲ修得セシム 八、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 九、中期ヲ以テスル教練及陣中勤務ハ第二期ニ於テ完全ニ修得セシム 十、劍術ハ短劍ヲ略、完全ニ、銃劍術ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 十一、築業ハ交通設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム 十二、易ナル交遊設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム 十三、退營期マテニ砲手ニ對スル取者ノ教育ハ中隊取者タルノ程度ニ、取者ニ對スル砲手ノ教育ハ照準手以外ノ砲手タルノ程度ニ達セシム</p>	

野戰重砲兵隊教育順次表

第一乃至第六聯隊

考 備	教育期			課 目	摘 要
	第 一 期	第 二 期	第 三 期		
	自 至 二 月 十 四 日 上 月 下 旬	七 至 下 月 旬	十 一 至 下 月 旬	徒 步 教 練 小 銃 ノ 使 用 及 戰 闘 法 體 操 劍 術 分 隊 教 練 陣 中 勤 務 馬 術	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度 ニ達セシムルヲ要ス 二、徒歩隊中各員ハ其要領ヲ會得セシム 三、小銃ノ使用法及戰闘法ハ必要ノ程度ニ修得セシム 四、射撃ハ必要ノ程度ニ修得セシム 五、分隊ノ各員ハ必要ノ程度ニ修得セシム 六、陣中勤務ハ必要ノ程度ニ修得セシム 七、馬術ハ必要ノ程度ニ修得セシム
		第 一 期 ノ 課 目 中 隊 教 練 作 業 練 習 諸 兵 連 合 演 習	第 一 期、第 二 期 ノ 課 目 大 隊 教 練 聯 隊 教 練 射 擊 演 習 師 團 秋 季 演 習	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度 ニ達セシムルヲ要ス 二、徒歩隊中各員ハ其要領ヲ會得セシム 三、小銃ノ使用法及戰闘法ハ必要ノ程度ニ修得セシム 四、射撃ハ必要ノ程度ニ修得セシム 五、分隊ノ各員ハ必要ノ程度ニ修得セシム 六、陣中勤務ハ必要ノ程度ニ修得セシム 七、馬術ハ必要ノ程度ニ修得セシム	

一、游泳、漕舟及水馬ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス

二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス

三、拳銃ノ使用法及射撃ハ拳銃携帯者(並兵動員上)ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス

四、初年兵中新馬調教手ニ充ツヘキ者ハ五月上旬ヨリ所要ノ教育ヲ爲スモノトス

五、大隊教練ハ射撃演習時期ノ關係ニ依リ第二期ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ得

六、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス

野戰重砲兵隊教育順次表 第七、第八聯隊

考 備	期 三 第		期 二 第		期 一 第		教 育 期	課 目	摘 要
	旬 下 月 一 十 至	旬 下 月 七 至	旬 下 月 七 至	旬 下 月 七 至	旬 上 月 二 十 自 至	旬 下 月 四 自 至			
<p>一、游泳及清舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜ノ方教育ヲ規定スルモノトス</p> <p>二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>三、拳銃ノ使用法及射撃ハ拳銃携帶者(伍長勤務上)ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>四、側車附自動二輪車、乘用自動車ノ教育ハ自動車手ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ實施スルモノトス</p> <p>五、大隊教練ハ射撃演習時期ノ關係ニ依リ第二期ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ得</p> <p>六、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモハトス</p>	<p>第一、第二期ノ課目</p> <p>大 隊 教 練</p> <p>聯 隊 演 習</p> <p>射 擊 演 習</p> <p>師 團 秋 季 演 習</p>	<p>第一期ノ課目</p> <p>中 隊 教 練</p> <p>作 業 演 習</p> <p>諸 兵 連 合 演 習</p> <p>自 動 車 工 術</p>	<p>第一期ノ課目</p> <p>中 隊 教 練</p> <p>作 業 演 習</p> <p>諸 兵 連 合 演 習</p> <p>自 動 車 工 術</p>	<p>第一期ノ課目</p> <p>中 隊 教 練</p> <p>作 業 演 習</p> <p>諸 兵 連 合 演 習</p> <p>自 動 車 工 術</p>	<p>第一期ノ課目</p> <p>中 隊 教 練</p> <p>作 業 演 習</p> <p>諸 兵 連 合 演 習</p> <p>自 動 車 工 術</p>	<p>徒 步 教 練</p> <p>小 銃 ノ 使 用 及 戰 闘 法</p> <p>體 操</p> <p>劍 術</p> <p>隊 中 勤 務 練 習</p>	<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス</p> <p>二、連中隊中各員ハ其要領ヲ會得セシム</p> <p>三、徒歩隊中各員ハ其要領ヲ會得セシム</p> <p>四、小銃ノ使用法及戰闘法ハ小銃ノ使用法及戰闘法ニ對シテ會得セシム</p> <p>五、射撃ハ短劍術ノ要領ヲ會得セシム</p> <p>六、劍術ハ短劍術ノ要領ヲ會得セシム</p> <p>七、隊中勤務ハ各分業ニ從ヒ動作ハ容易ナ</p> <p>八、陣中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>九、略隊完全ニ修得セシム</p> <p>十、地形ノ認識ハ完全ニ修得セシム</p> <p>十一、陣中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十二、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十三、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十四、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十五、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十六、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十七、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十八、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>十九、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p> <p>二十、隊中勤務ハ主トシテ完全ニ修得セシム</p>		

2018

重砲兵隊教育順次表

考 備	期 三 第	期 二 第	期 一 第	教 育 期	課 目	摘 要
	旬 下 月 一 十 至	旬 下 月 七 至	旬 上 月 二 十 自 旬 下 月 四 至			
一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ願慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、大隊教練ハ射擊演習時期ノ關係ニ依リ第二期ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ得 四、師團秋季演習及諸兵連合演習ニハ勉メテ參加スルモノトス	第一、第二期ノ課目 大隊教練 聯隊教練 射擊演習	第一期ノ課目 中隊教練 作業	自至 徒手歩教 小銃ノ使用及戰闘法 體操 銃劍 射擊 分隊教練 陣中勤務 力隊中勤	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、連中隊中各要領ハ完全ニ修得セシム 三、射撃ノ要領ハ會戰法ハ小銃ノ使用法及 四、分隊教練ハ本動作ノ要領ヲ修得セシム 五、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 六、種九式砲ノ完全ニ修得セシム 七、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 八、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 九、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 十、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及		
	一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ願慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、大隊教練ハ射擊演習時期ノ關係ニ依リ第二期ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ得 四、師團秋季演習及諸兵連合演習ニハ勉メテ參加スルモノトス	第一期ノ課目 中隊教練 作業	第一期ノ課目 中隊教練 作業	自至 徒手歩教 小銃ノ使用及戰闘法 體操 銃劍 射擊 分隊教練 陣中勤務 力隊中勤	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、連中隊中各要領ハ完全ニ修得セシム 三、射撃ノ要領ハ會戰法ハ小銃ノ使用法及 四、分隊教練ハ本動作ノ要領ヲ修得セシム 五、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 六、種九式砲ノ完全ニ修得セシム 七、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 八、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 九、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及 十、陣中勤務ハ主トシテ各種砲、四一式及	

高射砲隊教育順次表

考 備	教育期			課 目	摘 要
	期 三 第	期 二 第	期 一 第		
一、游泳及漕舟ハ銜戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、拳銃ノ使用法及射撃ハ拳銃携帶者(伍長對上等兵ヲ含ム)ニ對シ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 四、野砲兵隊内ニ在ル高射砲隊ノ砲、觀測、照射及聽測手ノ教育ハ本表ニ準シ實施スルモノトス	至十一月下旬	至七月下旬	自二十四月二至上旬	徒歩教練 小銃ノ使用及戰圖法 體操 劍術 隊中勤務	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、徒歩教練中各個教練ハ完全ニ修得セシム 三、小銃ノ使用及戰圖法ハ小銃ノ使用法及射撃ノ要領ヲ會得セシム 四、劍術ハ短劍術ノ要領ヲ修得セシム 五、隊中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨陣中勤務ニ關シ其概要ヲ會得セシム 六、體操ハ教練ノ進歩ニ伴ヒ實施スルモノトス 七、易ナル交通設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム 八、作業ハ砲兵ノ掩體、觀測所ノ構築及簡易ナル交通設備並偽裝ノ概要ヲ修得セシム 九、劍術ハ短劍術ヲ略、完全ニ、銃劍術ノ基本動作ノ概要ヲ修得セシム 十、諸兵連合演習ハ飛行機トノ連合演習ヲ實施スルモノトス 十一、退營期マテニ砲手ニ在リテハ觀測手ノ動作(遠望鏡ニ關ス)、觀測手ニ在リテハ砲手ノ動作(修正距離ニ關ス)ニ就キ各、其概要ヲ修得セシム 十二、退營期マテニ聽測手ニ在リテハ照射手ノ動作(發電機ニ關ス)、照射手ニ在リテハ聽測手ノ動作(聽音ニ關ス)ニ就キ各、其概要ヲ修得セシム
	第一、第二期ノ課目 集 成 教 練 射 擊 演 習 師團秋季演習	第一期ノ課目 作 業 砲隊(照空隊)教練 諸兵連合演習	第一、第二期ノ課目 徒歩教練 小銃ノ使用及戰圖法 體操 劍術 隊中勤務		

6018

附表第十四

工兵隊教育順次表

乙中隊

考 備	期 二 第		期 一 第		教育期	課 目	摘 要	
	旬下月一十至		旬上月二十自至					
<p>一、游泳、漕舟及手榴彈ノ用法並拵包ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス</p> <p>二、作業大隊教練ハ適宜實施スルノモトス</p> <p>三、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス</p>	師 諸 作 第	陣 作 作 執 射 銃 體 各	陣 作 作 執 射 銃 體 各	旬下月一十至	旬上月二十自至	師 諸 作 第	陣 作 作 執 射 銃 體 各	一、作業教練ハ陣地戰並要塞戰ニ適應スル ニ、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度 ニ、達セシムルヲ要ス
	師團秋季演習	業中隊教練	業基礎教練 (漕舟ヲ除ク)	業基礎教練 (巨艦演習ヲ含ム)	擊劍術	各個教練	業中隊教練	業基礎教練 (漕舟ヲ除ク)

工兵隊教育順次表

丙中隊

考 備	第 二 期		第 一 期		教 育 期	課 目	摘 要													
	至 十 一 月 下 旬		自 十 二 月 四 日 至 下 旬																	
一、游泳及捆包ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 二、作業大隊教練ハ適宜實施スルモノトス 三、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス	師 團 秋 季 演 習	諸 兵 連 合 演 習	作 業 中 隊 教 練	作 業 班 教 練	第 一 期 ノ 課 目	各 個 教 練	體 操	銃 劍 術	射 擊 (班 組 演 習)	執 銃 中 隊 教 練	作 業 基 礎 教 練	陣 中 勤 務								
	八、坑道作業ハ之ヲ行ハサルモノトス	七、銃道作業ハ之ヲ行ハサルモノトス	六、築城作業ハ輕易ナルモノニ就キ其要領ヲ得セシム	五、交通網ヲ輕便ニシテ其要領ヲ得セシム	四、交通網ヲ輕便ニシテ其要領ヲ得セシム	三、交通網ヲ輕便ニシテ其要領ヲ得セシム	二、交通網ヲ輕便ニシテ其要領ヲ得セシム	一、交通網ヲ輕便ニシテ其要領ヲ得セシム	一、作業教練ハ重材料ノ通過ニ應スル作業ニシテ其要領ヲ得セシム	二、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス	各 個 教 練 ハ 路 完全ニ修得セシム	銃 劍 術 ハ 基本動作ノ要領ヲ修得セシム	射 擊 中 隊 教 練 ハ 小 隊 ニテ 整 列 及 側 面 縱 隊 ノ 行 進 ヲ 爲 シ 得 シ ム	作 業 基 礎 教 練 ハ 略 完全ニ (土工及遺方) 修得セシム	陣 中 勤 務 ハ 主 ト シ テ 行 軍、宿 營 及 歩 哨 ノ 體 操 ヲ 關 シ 其 概 要 ヲ 得 セ シ ム	三、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス	四、渡河作業ハ重橋梁ノ架設ヲ略、完全ニ修得セシム	五、交通網ヲ輕便ニシテ其要領ヲ得セシム	六、築城作業ハ輕易ナルモノニ就キ其要領ヲ得セシム	七、銃道作業ハ之ヲ行ハサルモノトス

附表第十六

考 備		期 二 第		期 一 第		教 育 期	鐵 道 隊 教 育 順 次 表
		旬 下 月 一 十 至		旬 上 月 二 十 自 旬 下 月 四 至			
游泳、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス	第一期中ノ課目	作業中隊教練	作業大(聯)隊教練	陣中勤務	執銃中隊教練 作業基礎教練	射擊(距離測量)	各 個 教 練 體 操 銃 劍 術 銃 擊 射 擊
	第一期中ノ課目	作業中隊教練	作業大(聯)隊教練	陣中勤務	執銃中隊教練 作業基礎教練	射擊(距離測量)	
				<p>一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度 ニ連セシムルヲ要ス 銃劍術ハ略々完全ニ修得セシム 各個教練ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム</p> <p>二、執銃中隊教練ハ小隊ニテ整列及側面縱 隊ノ進行ヲ爲シ得シム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨 ノ動作ニ關シテ其概要ヲ會得セシム 體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施ス ルモノトス</p> <p>三、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ 進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス</p>		摘 要	

附表第十七

電信隊教育順次表		有線隊	
教育期	課目	摘	要
第一期 自十月二十四日 至十一月下旬	各個人教練 體劍術 銃劍術 射擊 執銃中隊教練 陣中勤務 電話術 電信術	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス ニ、各個人ハ略々完全ニ修得セシム 銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 射擊ハ小隊ニテ整列及側面縱隊ノ行進ヲ爲シ得シム 執銃中隊教練ハ小隊ニテ整列及側面縱隊ノ行進ヲ爲シ得シム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作ニ關シテ其概要ヲ會得セシム 體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス ニ、各個人ハ略々完全ニ修得セシム 銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 射擊ハ小隊ニテ整列及側面縱隊ノ行進ヲ爲シ得シム 執銃中隊教練ハ小隊ニテ整列及側面縱隊ノ行進ヲ爲シ得シム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作ニ關シテ其概要ヲ會得セシム 體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス
第二期 十一月下旬 至十二月下旬	第一期ノ課目 視號通信 部隊電信演習 秋季電信隊演習		

備考
一、游泳、漕舟、捆包、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス
二、師團秋季演習ニハ時宜ニ依リ参加スルモノトス

附表第十八

電信隊教育順次表		無線隊	
教育期	課目	精	要
第一期 自二十四月 至四月下旬	各個教練 體操 銃劍術 射擊 執中隊教練 陣中勤務 電話術 無線電信術	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度 ニ達セシムルヲ要ス 二、各隊ハ略々完全ニ修得セシム 銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 三、執中隊教練ハ小隊ニテ整列及側面縱 隊ノ進行ヲ爲シ得シム 四、陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨 ノ動作ニ關シテ其概要ヲ會得セシム 五、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施ス ルモノトス 六、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ 進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度 ニ達セシムルヲ要ス 二、各隊ハ略々完全ニ修得セシム 銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 三、執中隊教練ハ小隊ニテ整列及側面縱 隊ノ進行ヲ爲シ得シム 四、陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨 ノ動作ニ關シテ其概要ヲ會得セシム 五、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施ス ルモノトス 六、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ 進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス
第二期 十一月一 至下旬	第一期ノ課目 部隊無線電信演習 秋季電信隊演習		

備考
一、游泳、漕舟、梱包、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス
二、師團秋季演習ニハ時宜ニ依リ参加スルモノトス

附表第十九

電氣中隊教育順次表

考 備	期 二 第	期 一 第	教 育 期	課 目	摘 要
	旬下月一十至	旬上月二十自 旬下月四至			
一、游泳、漕舟、汽船及船舶ノ搭卸、拳銃ノ使用法及射撃ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 二、永久設備ヲ有スル發電所及變壓所勤務ハ適宜ノ時期ニ於テ其要領ヲ會得セシムルモノトス 三、諸兵連合演習ニハ勉メテ参加スルモノトス	第一期ノ課目 視 號 通 信 部隊電力、照明演習	射 銃 體 各 擊 劍 操 練 (巨艦演習) 執 銃 中 隊 教 練 陣 中 勤 務 電力及動力作業 照 明 術	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度達セシムルヲ要ス 二、各隊ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 三、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度達セシムルヲ要ス 二、各隊ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 三、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度達セシムルヲ要ス 二、各隊ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 三、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス

飛行隊教育順次表

考	備	期 三 第		期 二 第		期 一 第		教育期	課目	摘 要
		旬下月一十至	第一、第二期ノ課目	旬下月九至	第一期ノ課目	旬上二自	徒歩教練			
		大隊教練	第一、第二期ノ課目	諸兵連合演習	飛行場設備 捆包及積載 單機(編隊)教練 中隊教練	陣中勤務	體操 劍術	十二月上旬	徒歩教練 小銃ノ使用及戰闘法	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 徒歩教練中各個教練ハ完全ニ修得セシメ中隊教練ハ整列及側面縱隊ノ行進ヲ爲シ得シム 小銃ノ使用及戰闘法ハ小銃ノ使用法並射撃(距離測量)ノ要領ヲ會得セシム 劍術ハ短劍術ノ要領ヲ修得セシム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作(對空監視等)ニ關シ其概要ヲ會得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、劍術ハ短劍術ヲ略シ、完全ニ、銃劍術ノ基本動作ノ概要ヲ修得セシム 四、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ陸軍航空本部長之ヲ定ムルモノトス
	一、整備隊ノ教育ハ本表ニ準スルモ徒歩教練以外ノ諸教練及諸兵連合演習ハ之ヲ行ハサルモノトス 聯隊長ハ中(大)隊ノ行フ教練及諸兵連合演習ニハ下士官以下ヲ特業ノ種類ニ應ジ參加セシメ其伎倆ノ向上ヲ圖ルモノトス 二、爆撃及偵察中隊ノ者ニハ爆彈ノ取扱及懸吊ノ要領ヲ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、飛行隊ニ必要ナル交通、築城及築營作業ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 四、游泳及潛舟ハ街成地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 五、自動車手及高射機關銃手(修業者)ニハ適宜ノ時期ニ於テ拳銃ノ使用法及射撃ヲ教育スルモノトス 自動車手(修業者)ニハ執銃教練及射撃(新兵勤務ニ必要ナル教育ヲ除ク)ヲ行ハシメス 六、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 七、編制上同一分科ノ中隊二箇以上ヲ有セザル部隊ニ在リテハ大隊教練ニ代ヘ獨立中隊ノ教練ヲ行フモノトス 八、他ノ分科飛行隊トノ連合演習及諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス 九、師團秋季演習ニハ勉メテ參加スルモノトス									

氣球隊教育順次表

		教育期		課目		摘要	
考	備	期二第	期一第	自	至	徒	要
		至十一月下旬	自十月四日	體	射	步	
		第一期ノ課目	氣球陣地設備作業 摺包及積載	劍術	射擊	教練	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、徒歩各個教練ハ徒手ノ動作ヲ完全ニ修得セシメテ執銃ノ動作ハ其要領ヲ會得セシム
		中隊教練	陣中勤務	氣球操作	射擊	教練	徒歩中隊教練ハ小隊ニテ整列及側面縱隊ノ行進ヲ爲シ得シム 劍術ハ氣球操作兵ニ在リテハ銃劍術基本動作ノ要領ヲ、自動車手ニ在リテハ短劍術ノ要領ヲ修得セシム 陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作(對空監視哨ノ)ニ關シ其概要ヲ會得セシム
		諸兵連合演習	諸兵連合演習	氣球操作	射擊	教練	二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、劍術ハ氣球操作兵ニ在リテハ銃劍術ノ基本動作ヲ、自動車手ニ在リテハ短劍術ヲ各略、完全ニ修得セシム 四、各期ニ於ケル本科專門ニ屬スル教育ノ進度ハ陸軍航空本部長之ヲ定ムルモノトス
	備	一、氣球隊ニ必要ナル交通、築城及築營作業ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 二、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 三、自動車手ニハ執銃教練及射擊ヲ行ハシメス適宜ノ時期ニ於テ拳銃ノ使用法及射擊ヲ教育スルモノトス 四、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 五、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス 六、師團秋季演習ニハ勉メテ參加スルモノトス	考				

輜重兵隊教育順次表

考 備	教育期			課 目	摘 要
	期三第	期二第	期一第		
	至十一月下旬	至七月下旬	自二十四月 至上旬	各 個 教 練 各 馬 教 練 乘 馬 教 練 體 操 劍 術 射 擊 (百發百中)	
	第一、第二期ノ課目 銃馬大隊教練 師團秋季演習	第一期ノ課目 諸兵連合演習	隊中勤務 徒步小隊教練 騎馬中隊教練 騎馬分隊教練		
	一、游泳、漕舟及水馬ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸並拳銃携帶者ニ對スル拳銃ノ使用法及射擊ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、二馬輿輜重車ヲ有スル大隊ニ在リテハ本表ノ外適宜ノ時期ニ於テ二馬輿輜重車執馬ノ取法ヲ修得セシムルモノトス 四、諸兵連合演習ハ第二年兵ノ爲第一期ニ於テモ勉メテ之ヲ實施スルモノトス	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルヲ要ス 二、各個教練ハ略々完全ニ修得セシム但個包及積載ハ教育上基礎トナルヘキ兵器、物品ニ就キ實施セシム 三、乘馬教練ハ平易ナル野外騎乘ヲ實施シ得シム 四、劍術ハ兩手軍刀術ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 五、騎馬分隊教練ハ其概要ヲ修得セシム 六、隊中教練ハ其概要ヲ以テスル各種地形ニ於ケル隊行進ノ要領ヲ會得セシム 七、徒步小隊教練ハ分隊ヲ以テスル教練ノ概要ヲ修得セシム 八、宿營及歩哨ノ動作ニ關スル特務兵ノ勤務並傳令ノ動作ノ概要ヲ會得セシム 九、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 十、銃劍術ハ第二期ヨリ教育シ銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ短劍術ハ其要領ヲ修得セシム 十一、騎馬中隊教練ハ第二期ニ於テ略々完全ニ修得セシム 十二、斥候及傳令ノ動作ハ第二期末マテ略々完全ニ修得セシム 十三、交遊及築城ニ關スル設備ニ就キ其要領ヲ會得セシム 十四、班長トシテノ指揮及特務兵ノ教育法並馬ノ調教法ハ第二期ヨリ教育ス			

6118

輜重兵隊教育順次表 自動車手

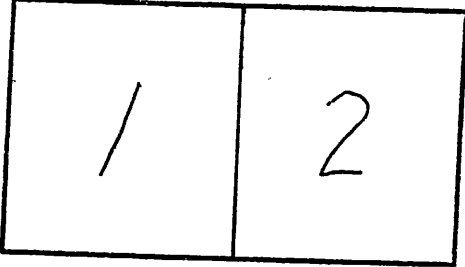

考 備	陸 軍 自 動 車 學 校 分 校 前 遣		區 分
	第 二 期	第 一 期	教 育 期
一、游泳及漕舟ハ衛戍地ノ關係ヲ顧慮シ師團長ニ於テ適宜之カ教育ヲ規定スルモノトス 二、汽車及船舶ノ搭卸ハ適宜ノ時期ニ於テ教育スルモノトス 三、諸兵連合演習及師團秋季演習ニハ時宜ニ依リ参加スルモノトス	陸軍自動車學校分遣 前ノ課目 拳銃ノ使用法及射撃 自動車工術	自 至 十 二 月 上 旬 下 旬 徒 步 各 個 教 練 體 操 劍 術 小銃射撃(直隸演習) 自動車各個教練 自動車小隊教練 徒歩小隊教練 陣中勤務	課 目 摘 要
	至 七 月 下 旬 第 一 期 ノ 課 目 業	一、初年兵ハ第一期末ニ於テ概ネ左ノ程度ニ達セシムルモノトス 二、徒歩各個教練ハ略、完全ニ修得セシム 三、劍術ハ短劍術ノ要領ヲ修得セシム 四、自動車各個教練ハ略、完全ニ修得セシム 五、自動車各個教練ハ基礎トナルヘキ兵器物品ニ就キ其要領ヲ修得セシム 六、徒歩小隊教練ハ分隊ヲ以テスル教練ノ要領ヲ會得セシム 七、自動車小隊教練ハ分隊教練ノ概要ヲ修得セシム 八、陣中勤務ハ行軍、宿營、歩哨、斥候及傳令ノ動作ノ概要ヲ修得セシム 九、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 十、小銃射撃ハ第二期末マテニ初年兵ノ第四習合マテ實施セシム 十一、劍術ハ第二期末マテニ短劍術ヲ略、完全ニ修得セシム 十二、銃劍術ノ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 十三、自動車小隊教練ハ略、完全ニ修得セシム 十四、作業ハ簡易ナル交通設備ニ就キ其要領ヲ會得セシム 十五、自動車工術ハ適宜復習セシム	

輜重兵隊教育順次表		特務兵
課目	摘	要
各個教練 劍術擊 射擊 馬分隊教練 徒步隊教練 銃馬中隊教練 陣中勤務	一、徒步教練及陣中勤務ハ其概要ヲ修得セシム 二、各個教練中摺包及積載ハ教育上基礎トナルヘキ兵器、物品ニ就キ略、完全ニ修得セシム 三、劍術ハ短劍術ノ概要並銃劍術ノ基本動作直突ノ要領ヲ修得セシム 四、駄馬分隊及銃馬中隊教練ニ於テハ摺包ヲ實施セサルモノトス	
備考	一、體操ハ適宜之ヲ行ハシムルモノトス 二、諸兵連合演習及師團秋季演習ニ參加セシムルコトヲ得	

士官候補生陸軍士官學校本科派遣前學科教育課目表

考備	砲		騎		各		兵種
	馬	火	馬	爆	野	陣	課目
一、軍隊教育令、陸軍演習令、交通教範、築營教範、本科通信教範ハ兵種ノ必要ニ應シ適宜教育スルモノトス 二、本表ノ外第三十四ニ示セル項目ニ就キ教育スルモノトス	馬術教範 <small>(重砲兵隊ヲ除ク)</small>	砲兵觀測通信ニ關スル教範	馬術教範	爆破教範	野戰築城教範	陣中要務令	戰闘綱要
	砲兵觀測通信ニ關スル教範	重砲兵力作教範 <small>(重砲兵ヲ除ク)</small>	馬術教範 <small>(重砲兵隊ヲ除ク)</small>	馬術教範	瓦斯防護ニ關スル事項	本科使用兵器取扱法、同保存法 <small>(空兵隊ニ在リテハ術科教育ニ必要ナルモノニ限ル)</small>	野戰築城教範
	工學	輜重	航空	工	坑道	架橋	架橋教範
	馬學 <small>(重砲兵隊ヲ除ク)</small>	馬術教範	飛行機工、發動機工、通信、寫眞、飛行場設備、梱包及積載、氣象觀測等ニ關スル教範類	爆破教範	坑道教範	架橋教範	架橋教範
	馬學	輜重兵取法教範	自動車操縦教範	爆破教範	坑道教範	架橋教範	架橋教範
	馬學	梱包積載教範	自動車ニ關スル諸法規	爆破教範	坑道教範	架橋教範	架橋教範
	馬學	自動車操縦教範	自動車ニ關スル諸法規	爆破教範	坑道教範	架橋教範	架橋教範
	馬學	自動車ニ關スル諸法規	自動車ニ關スル諸法規	爆破教範	坑道教範	架橋教範	架橋教範

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>7 年 2 月 13 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

考	備	兵		航空		兵		
		隊氣球	隊飛行	中電隊氣	隊電信	指揮兵		
<p>一、教育法ノ概要ヲ會得セシムルモノトス</p> <p>二、劍術ノ教育ハ所屬中隊ノ課目ニ應シテ實施スルモノトス但甲種ニ在リテハ兩手軍刀術ノミヲ行フモノトス</p> <p>三、本表ノ外軍隊教育ヲ妨ケケル範圍ニ於テ青年訓練指導ニ任スル爲ニ必要ナル事項ヲ授クルコトヲ得</p> <p>四、師團長ハ戰時委員充足ノ關係ヲ顧慮シ若干人員ニ對シ特別ニ通信、觀測、瓦斯等ニ關シ教育ヲ行フコトヲ得</p>	<p>輻重兵中隊(行手ヲ含ム)委員ニ對シテハ自動車ニ關スル教育ヲ行ハサルモノトス</p>	<p>氣球操作及自動車ノ教育ハ共ニ之ヲ行フモノトス但自動車ノ教育スルモ其概要ヲ教育スルモノトス</p>	<p>飛行機ノ操作及自動車ノ教育ハ共ニ之ヲ行フモノトス但自動車ノ教育スルモ其概要ヲ教育スルモノトス</p>	<p>一、機關及建築ノ教育ハ共ニ行フモノトス</p>	<p>一、小隊(區隊)ノ指揮ヲ完全ニ修得セシム</p> <p>二、馬術ノ概要ヲ會得セシム</p>	<p>三、馬術ノ概要ヲ會得セシム</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>
		<p>瓦斯小隊長若ハ班長ノ指揮ヲ完全ニ修得セシム</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	<p>一、小隊(區隊)ノ指揮ヲ完全ニ修得セシム</p> <p>二、馬術ノ概要ヲ會得セシム</p>	<p>三、馬術ノ概要ヲ會得セシム</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	
		<p>分隊若ハ組ノ指揮ヲ完全ニ修得セシム</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	<p>一、小隊(區隊)ノ指揮ヲ完全ニ修得セシム</p> <p>二、馬術ノ概要ヲ會得セシム</p>	<p>三、馬術ノ概要ヲ會得セシム</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	<p>一、空中勤務者委員ト地上勤務者委員トニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>二、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p> <p>三、地上勤務者委員ニ對シテハ必要ナル素地ヲ附與スル</p>	

附表第二十六其三

技術ニ從事スヘキ 各兵科幹部候補生 學、術科教育課目表	課目	術科	學科	備考
一、一般教育ハ特ニ其目的精神ヲ理解セシムルト共 二、精神の要素ノ涵養ニ留意ス 三、實兵指揮ハ分、小隊長ノ動作ノ概要ヲ會得セシム 得セシム 三、劍術ハ兩手軍刀術ノミヲ實施シ試合ノ要領ヲ修	一、一般教育第一期ノ課目	戰國綱要 陣中要務令及軍制學ハ特 其將來ヲ顧シテ教育スルモノトス 兵學ハ其構造トシテ所屬兵科ノ主要兵器、器材等 就キ其構造トシテ所屬兵科ノ主要兵器、器材等 地學ハ地形ニ關スル概念ヲ與ヘ地圖ノ見解ノ 要領ヲ會得セシム	戰國綱要 陣中要務令及軍制學ハ特 其將來ヲ顧シテ教育スルモノトス 兵學ハ其構造トシテ所屬兵科ノ主要兵器、器材等 就キ其構造トシテ所屬兵科ノ主要兵器、器材等 地學ハ地形ニ關スル概念ヲ與ヘ地圖ノ見解ノ 要領ヲ會得セシム	本表ノ外第三十四ニ示セル項目ニ就キ教育スルモノトス

附表第二十六其四

各部幹部候補生學、術科教育課目表		課目	摘要
考備	<p>本表ノ外第三十四ニ示セル項目ニ就キ教育スルモノトス</p>	<p>一般教育第一期ノ課目</p>	<p>一、一般教育ハ特ニ其目的精神ヲ理解セシムルト共ニ精神の要素ノ涵養ニ留意ス</p> <p>二、實兵指揮ハ密集教練ニ就キ分、小隊長ノ動作ノ概要ヲ會得セシム</p> <p>三、劍術ハ兩手軍刀術ノミヲ實施シ試合ノ要領ヲ修得セシム</p>
學科	<p>戰術綱要 陣中要務令 陣制學 軍令學 地形學</p>	<p>戰術綱要 陣中要務令 陣制學 軍令學 地形學</p>	<p>一、戰術綱要、本科操典、陣中要務令、軍制學ハ特ニ其將來ヲ顧シ教育ヘルモノトス</p> <p>二、地形學ハ地形學ノ概要ヲ教育シ且簡單ナル要圖ヲ調製シ得シムルヲ要ス</p>

短期現役兵學、術科教育課目表

課目	術科		學科										備考												
	射擊	陣中勤務	其他	教育法	實兵指揮	作業	銃劍術	體操	步兵操典	戰術綱要	陣中要務令	軍隊教育令		陸軍演習令	測圖學	軍制學	步兵射擊教範	野戰築城教範	築營教範	交通教範	瓦斯防護ニ關スル事項	步兵通信教範	體操教範	劍術教範	其他
射擊	指導法ノ要領ヲ會得セシム																								
陣中勤務	主トシテ搜索、警戒、行軍及宿營ノ概要ヲ會得セシム																								
其他																									
教育法																									
實兵指揮																									
作業																									
銃劍術																									
體操																									
步兵操典																									
戰術綱要																									
陣中要務令																									
軍隊教育令																									
陸軍演習令																									
測圖學																									
軍制學																									
步兵射擊教範																									
野戰築城教範																									
築營教範																									
交通教範																									
瓦斯防護ニ關スル事項																									
步兵通信教範																									
體操教範																									
劍術教範																									
其他																									
備考	<p>一、陸軍諸學校及他兵種ノ諸隊並教練、演習等ハ勉メテ之ヲ見學セシムルモノトス</p> <p>二、典、令、範及軍隊教育令ノ主義精神ハ其綱領ニ就キ十分ニ徹底セシムルモノトス</p> <p>三、本表ノ外第三十四ニ示セル項目ニ就キ教育シテ軍隊内務ニ就キテハ其精神ヲ徹底セシムルヲ要ス</p>																								

附表第二十八其一

補充兵教育課目表		區分課目
戰車隊	步兵隊	各體銃射中陣
各個教練	各個教練	體操
劍術	劍術	射擊
銃術	銃術	中隊教練
單車(分隊)教練	中隊教練	陣中勤務業務
工務	陣中勤務業務	
陣中勤務業務		
一、各個教練ハ小銃手ノ動作ヲ略、完全ニ修得セシム	一、各個教練ハ基礎トナルヘキ事項ヲ略、完全ニ修得セシム	一、各個教練ハ小銃手ノ動作ヲ略、完全ニ修得セシム
二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス	二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス	二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス
三、銃劍術ハ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム	三、銃劍術ハ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム	三、銃劍術ハ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム
四、單車(分隊)教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム	四、單車(分隊)教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム	四、單車(分隊)教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム
五、射撃ハ射手ニ對シ輕機關銃及砲ノ射撃ノ概要ヲ修得セシム	五、射撃ハ射手ニ對シ輕機關銃及砲ノ射撃ノ概要ヲ修得セシム	五、射撃ハ射手ニ對シ輕機關銃及砲ノ射撃ノ概要ヲ修得セシム
六、工務ハ日常ノ手入及給油ヲ略、完全ニ、操縦手ニ對シ點檢、調整及應急修理ノ概要ヲ修得セシム	六、工務ハ日常ノ手入及給油ヲ略、完全ニ、操縦手ニ對シ點檢、調整及應急修理ノ概要ヲ修得セシム	六、工務ハ日常ノ手入及給油ヲ略、完全ニ、操縦手ニ對シ點檢、調整及應急修理ノ概要ヲ修得セシム
七、陣中勤務ハ行軍及宿營ニ關シ其要領ヲ會得セシム	七、陣中勤務ハ行軍及宿營ニ關シ其要領ヲ會得セシム	七、陣中勤務ハ行軍及宿營ニ關シ其要領ヲ會得セシム
一、各個教練ハ基礎トナルヘキ事項ヲ略、完全ニ修得セシム	一、各個教練ハ基礎トナルヘキ事項ヲ略、完全ニ修得セシム	一、各個教練ハ基礎トナルヘキ事項ヲ略、完全ニ修得セシム
二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス	二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス	二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス
三、銃劍術ハ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム	三、銃劍術ハ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム	三、銃劍術ハ基本動作ヲ略、完全ニ修得セシム
四、單車(分隊)教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム	四、單車(分隊)教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム	四、單車(分隊)教練ハ各分業ニ從ヒ平易ナル地形ニ於テ略、完全ニ修得セシム
五、射撃ハ射手ニ對シ輕機關銃及砲ノ射撃ノ概要ヲ修得セシム	五、射撃ハ射手ニ對シ輕機關銃及砲ノ射撃ノ概要ヲ修得セシム	五、射撃ハ射手ニ對シ輕機關銃及砲ノ射撃ノ概要ヲ修得セシム
六、工務ハ日常ノ手入及給油ヲ略、完全ニ、操縦手ニ對シ點檢、調整及應急修理ノ概要ヲ修得セシム	六、工務ハ日常ノ手入及給油ヲ略、完全ニ、操縦手ニ對シ點檢、調整及應急修理ノ概要ヲ修得セシム	六、工務ハ日常ノ手入及給油ヲ略、完全ニ、操縦手ニ對シ點檢、調整及應急修理ノ概要ヲ修得セシム
七、陣中勤務ハ行軍及宿營ニ關シ其要領ヲ會得セシム	七、陣中勤務ハ行軍及宿營ニ關シ其要領ヲ會得セシム	七、陣中勤務ハ行軍及宿營ニ關シ其要領ヲ會得セシム

步兵戰車裝甲自動車


補充兵教育課目表 工兵

區分課目		摘要
工兵隊	各體劍射銃中執作 個教練術操練 中勤務	一、各個教練ハ略、完全ニ修得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 四、執銃中隊教練ハ其概要ヲ會得セシム 五、爆作、業重、材料ノ取扱ハ概要ヲ會得セシム 六、突擊作、業重、材料ノ取扱ハ概要ヲ會得セシム 七、陣中勤務ハ主トシテ行軍、宿營及歩哨ノ動作ニ關シ其概要ヲ會得セシム
鐵道隊	各體劍射銃中執作 個教練術操練 中勤務	一、各個教練ハ略、完全ニ修得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 四、執銃中隊教練ハ其概要ヲ會得セシム 五、本科專門ニ屬スル教育ノ要求程度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス 六、有線電信、無線電信通信及同建裝員トシテノ教育ハ入營前奏養アル者ニ限リ之ヲ實施スルモノトス 七、陣中勤務ハ主トシテ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ會得セシム
電信隊	各體劍射銃中執電 個教練術操練 中勤務	一、各個教練ハ略、完全ニ修得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 四、執銃中隊教練ハ其概要ヲ會得セシム 五、本科專門ニ屬スル教育ノ要求程度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス 六、有線電信、無線電信通信及同建裝員トシテノ教育ハ入營前奏養アル者ニ限リ之ヲ實施スルモノトス 七、陣中勤務ハ主トシテ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ會得セシム
電氣中隊	各體劍射銃中執電 個教練術操練 中勤務	一、各個教練ハ略、完全ニ修得セシム 二、體操ハ教練、演習ノ進度ニ伴ヒ實施スルモノトス 三、銃劍術ハ基本動作ノ要領ヲ修得セシム 四、執銃中隊教練ハ其概要ヲ會得セシム 五、本科專門ニ屬スル教育ノ要求程度ハ工兵監之ヲ定ムルモノトス 六、有線電信、無線電信通信及同建裝員トシテノ教育ハ入營前奏養アル者ニ限リ之ヲ實施スルモノトス 七、陣中勤務ハ主トシテ行軍及宿營ニ關シ其概要ヲ會得セシム

豫、後備役兵及補充兵復習教育課目表

考	備	砲		騎	歩		兵種	課目	
		隊	重砲		野戰	中隊			各隊
<p>一、學科教育ニ關シテハ第三十四乃至第三十六ヲ準用シ特ニ戰闘及戰時ノ勤務ニ必要ナルモノ並ニ在郷軍人ノ心得ニカテ用ヒテ教育シ其他ハ適宜復習セシムルモノトス</p> <p>二、戰車、鐵道、電信隊、電氣中隊及航空兵隊ニ在リテハ主トシテ本科專門ノ學、術科ヲ復習セシムルモノトス</p> <p>三、本表ノ外體操、劍術ハ兵種ノ必要ニ應シ適宜之ヲ實施スルモノトス</p> <p>四、大隊以上ノ部隊ヲ以テスル教練、演習等ニハ成ルヘク參加セシムルモノトス</p> <p>五、野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊ニ在リテハ本表高射砲隊ノ爲ニ規定セルモノニ準シ教育ヲ實施スルモノトス</p> <p>六、歸休兵ニ在リテハ概ネ本表ニ準シ教育ヲ實施スルモノトス</p> <p>七、本表ノ外軍隊教育ヲ妨ケサル範圍ニ於テ青年訓練等ノ指導ニ任スル者ニ對シ之ニ必要ナル事項ヲ授クルコトヲ得</p>		隊	重砲	野戰	中隊	各隊	兵種	課目	
		力陣	中隊	徒分	馬陣	中隊			各隊
		中隊	中隊	徒分	術中	中隊			各隊
		勤務	勤務	勤務	勤務	勤務			勤務
		兵	重砲	工	砲	高射	兵種	課目	
		陣	中隊	作	照空	徒分			
		中隊	中隊	作	隊	各隊			
		勤務	勤務	業	隊	各隊			

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="644 488 1114 752"><tr><td data-bbox="644 488 879 752">1</td><td data-bbox="879 488 1114 752">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため		
<p data-bbox="256 1200 1289 1357">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="347 1514 906 1581">7 年 2 月 13 日</p> <p data-bbox="512 1697 807 1760">主務者又は</p> <p data-bbox="512 1850 1398 1951">撮影立会者 加部東 保夫 </p>			

各兵檢閱一覽表

兵種	檢閱事項	檢閱官	檢閱期日	步兵		戰車	騎兵		砲兵			工兵		航空兵		輜重			
				一般教育	補充兵教育		一般教育	補充兵教育	野戰砲兵	重砲兵	高射砲兵	工兵	飛行	氣球					
步兵	一、第一期ノ課目中 各個教練、分隊教練、小隊教練、陣中勤務(機銃、機關銃、步兵砲分隊教練(兵二年在シテハ機銃、步兵砲分隊ヲ除ク)) 二、第二期ノ課目中 曲射歩兵砲分隊教練(初年兵)、中隊教練、機關銃中隊教練、曲射歩兵砲小隊教練、陣中勤務、大隊教練 銃劍術(機關銃隊)	大隊長		補充兵教育	一般教育	戰車	補充兵教育	一般教育	新馬調教	野戰砲兵	補充兵教育	一般教育	工兵	補充兵教育	一般教育	飛行	一般教育	輜重	一般教育
騎兵	一、第一期ノ課目中 各個教練、徒步分隊教練、陣中勤務(以上機關銃、機關銃分隊教練、輕機關銃分隊教練) 二、第二期ノ課目中 中隊教練、機關銃中隊教練、輕機關銃中隊教練、陣中勤務、劍術(機關銃隊)	聯隊長		補充兵教育	一般教育	戰車	補充兵教育	一般教育	新馬調教	野戰砲兵	補充兵教育	一般教育	工兵	補充兵教育	一般教育	飛行	一般教育	輜重	一般教育
砲兵	一、第一期ノ課目中 徒步各個教練(初年兵)、分隊教練 二、第二期以後ノ課目中 中隊教練、大隊教練(獨立大隊)	聯隊長		補充兵教育	一般教育	戰車	補充兵教育	一般教育	新馬調教	野戰砲兵	補充兵教育	一般教育	工兵	補充兵教育	一般教育	飛行	一般教育	輜重	一般教育
工兵	一、第一期ノ課目中 各個教練、作業基礎教練(滑カ) 二、第二期ノ課目中 作業基礎教練(滑カ)、作業班教練、作業中隊教練	隊		補充兵教育	一般教育	戰車	補充兵教育	一般教育	新馬調教	野戰砲兵	補充兵教育	一般教育	工兵	補充兵教育	一般教育	飛行	一般教育	輜重	一般教育
航空兵	一、第一期ノ課目中 各個教練、作業基礎教練(各個)教練、作業班教練 二、第二期ノ課目中 作業中(大隊)隊教練(機銃)、作業部隊(機銃)教練(電氣中隊)	隊		補充兵教育	一般教育	戰車	補充兵教育	一般教育	新馬調教	野戰砲兵	補充兵教育	一般教育	工兵	補充兵教育	一般教育	飛行	一般教育	輜重	一般教育
輜重	一、第一期ノ課目中 各個教練、乘馬教練、分隊教練(兵二年在シテハ) 二、第二期ノ課目中 徒步、自動車小隊教練、鞍馬及馱馬中隊教練、陣中勤務、軍刀術 三、特務兵教育課目中 小隊教練、陣中勤務	長		補充兵教育	一般教育	戰車	補充兵教育	一般教育	新馬調教	野戰砲兵	補充兵教育	一般教育	工兵	補充兵教育	一般教育	飛行	一般教育	輜重	一般教育

考 備	兵 各		兵 重 輻		兵 空 航		兵		
	勤務演習教育	特業教育	新馬調教	一般教育	隊 球 氣	隊 行 飛	隊 隊 隊	之 信 氣 電	
<p>一、規定ニ據ル檢閲ヲ行フモノトス</p> <p>二、航空兵隊ニ在リテハ本表ノ外空中勤務ニ關スル檢閲ヲ行フモノトス</p> <p>三、檢閲官ハ本表ニ示セル檢閲事項ノ細部ノ課目ヲ決定スルノ外聯隊長ハ本表以外ノ事項ニ就キ檢閲スルコトヲ得</p> <p>四、聯隊長ハ特業教育ノ檢閲ヲ當該監督將校(分屯步兵大隊ニ在リテハ大隊長)ヲシテ實施セシム</p> <p>五、野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊ノ檢閲ニ關シテハ本表高射砲隊ノ爲ニ規定セルモノヲ準用スルモノトス</p> <p>六、二期入營部隊ニ在リテハ第四期ニ於ケル大隊教練ノ檢閲ヲ行ハサルコトヲ得</p> <p>七、師、旅團長ハ要スレハ檢閲期日ノ決定ヲ統制スルモノトス</p>	<p>一、第一期ノ課目中 各個教練、作業基礎(各個)教練、作業班教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 作業中(大)隊教練(聯隊)、作業部隊(中隊)教練(電氣中隊)</p> <p>各個教練、各個作業、部隊作業</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練、氣球教練、自動車教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 各個教練、乘馬教練、分隊教練(兵二年)</p> <p>二、第二期ノ課目中 徒歩、自動車小隊教練、鞍馬及駄馬中隊教練、陣中勤務、軍刀術</p> <p>三、特務兵教育課目中 小隊教練、陣中勤務</p> <p>新馬ノ水勒、大勒及鞍(駄)馬調教</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練、氣球教練、自動車教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 各個教練、乘馬教練、分隊教練(兵二年)</p> <p>二、第二期ノ課目中 徒歩、自動車小隊教練、鞍馬及駄馬中隊教練、陣中勤務、軍刀術</p> <p>三、特務兵教育課目中 小隊教練、陣中勤務</p> <p>新馬ノ水勒、大勒及鞍(駄)馬調教</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練、氣球教練、自動車教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>
	<p>召集下士官、兵ノ教育課目中重要ナルモノ</p>	<p>教育課目中重要ナルモノ</p>	<p>新馬ノ水勒、大勒及鞍(駄)馬調教</p>	<p>一、第一期ノ課目中 各個教練、乘馬教練、分隊教練(兵二年)</p> <p>二、第二期ノ課目中 徒歩、自動車小隊教練、鞍馬及駄馬中隊教練、陣中勤務、軍刀術</p> <p>三、特務兵教育課目中 小隊教練、陣中勤務</p> <p>新馬ノ水勒、大勒及鞍(駄)馬調教</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練、氣球教練、自動車教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>	<p>一、第一期ノ課目中 各個教練、乘馬教練、分隊教練(兵二年)</p> <p>二、第二期ノ課目中 徒歩、自動車小隊教練、鞍馬及駄馬中隊教練、陣中勤務、軍刀術</p> <p>三、特務兵教育課目中 小隊教練、陣中勤務</p> <p>新馬ノ水勒、大勒及鞍(駄)馬調教</p>	<p>一、第一期ノ課目中 徒歩各個教練、氣球教練、自動車教練</p> <p>二、第二期ノ課目中 中隊教練</p>
				長				定	
					ス				

昭和十二年十二月二十一日印刷
昭和十二年十二月二十五日發行

(軍隊教育令奥附)
【定價金四拾錢】

翻刻發行
兼印刷者

東京市日本橋區通三丁目一番地

小島棟吉

印刷所

東京市淺谷區猿樂町五十一番地

武揚堂第三工場

電話青山五三三二番

陸地測量部發行地圖元賣捌所
陸軍省檢閱濟軍隊教科用書發行所

東京市日本橋區通三丁目一番地

武揚堂書店

振替東京四六四一番
電話日本橋(二四五一番)
四〇九七番